



**世界を動かす、
なくてはならない会社へ**

2026年7月4日

ミネベアミツミ株式会社

(東証プライム市場：6479)

**代表取締役 会長 CEO
貝沼 由久**

1 章	ミネベアミツミとその強さの秘密
2 章	経営方針・成長戦略
3 章	成長の5分野+1
4 章	今後の売上を牽引するグローバル生産拠点
5 章	カーボンニュートラル
6 章	株主の皆さまへの還元
補足	17年間の軌跡

1-1. 会社概要

ミネベアミツミは、ベアリングなどの機械加工品事業、半導体、小型モーター、電子デバイスなどの電子機器事業、自動車部品・産業機械・住宅機器事業を手掛ける超精密部品メーカー

設立


1951年

従業員数

(2026年3月末時点)


81,383人

海外従業員比率

(2026年3月末時点)


86%

生産・開発拠点数

(2026年3月末時点)


23カ国
134拠点

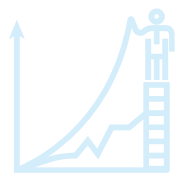
売上高

(2026年3月期)


1兆6,644億円

営業利益

(2026年3月期)


1,040億円

時価総額

(2026年6月30日時点)


約2.0兆円

海外生産比率

(2026年3月期)


82%

本社：
軽井沢工場(長野県)



東京本部：
東京クロステックガーデン(汐留)



グローバルマーケットの中でニッチ分野に特化し、高いシェアを獲得

売上高

1兆 6,644億円

(2026年3月期)

世界シェア **No. 1** 製品の割合

50%※

世界シェアNo.1製品

ミニチュア・
小径ボールベアリング



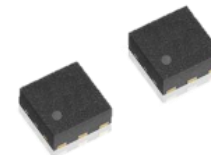
60%※

HDD(ハードディスクドライブ)用
ピボットアッセンブリー



90%※

1直リチウムイオン
電池用保護IC

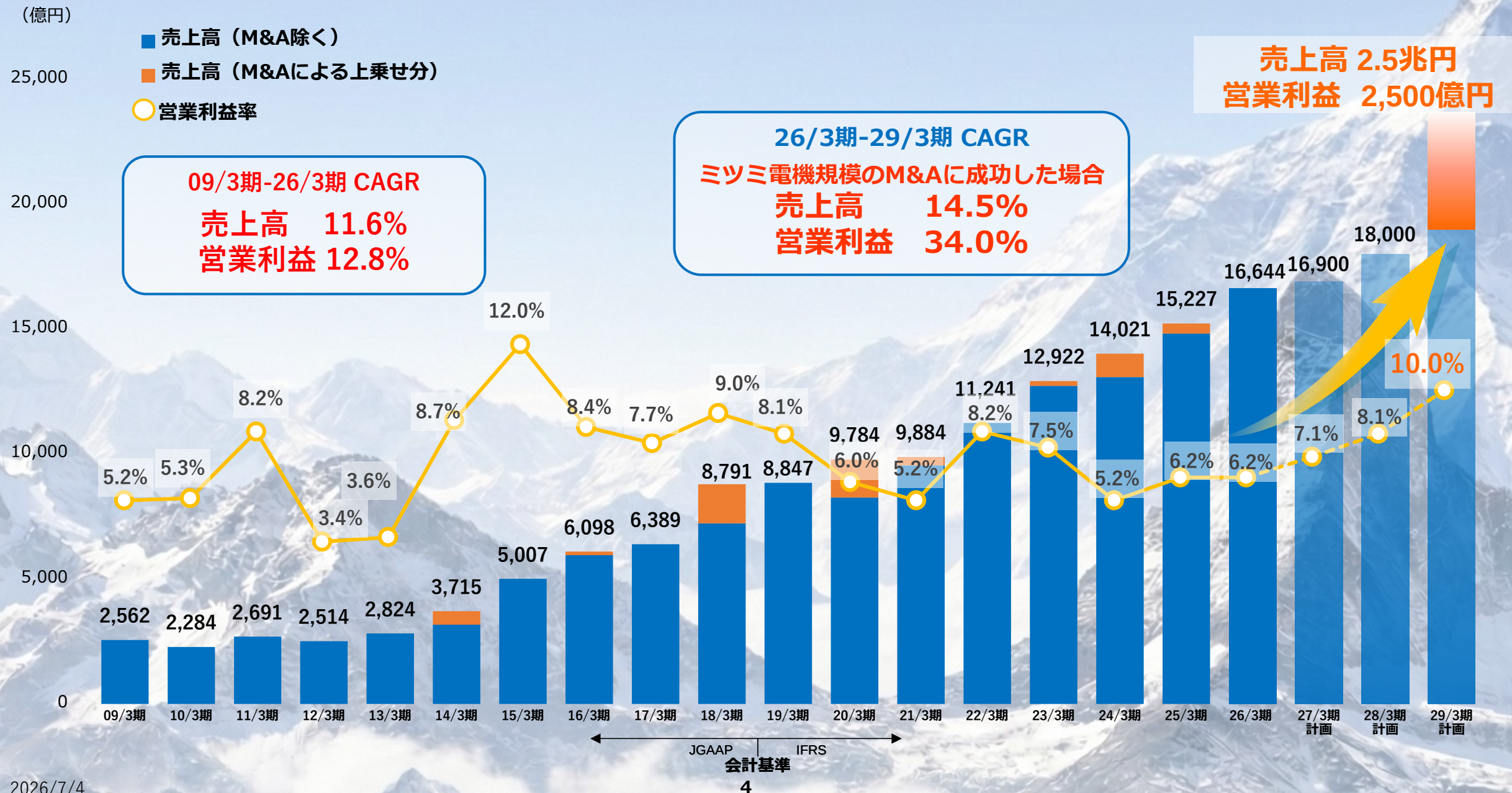


80%※

※当社調べ

1-3. 中期業績予想 (Plan A)

残り3年で大型のM&A（ミツミ電機規模）がある場合



1-4. 中期業績予想 (Plan B)

大型のM&Aが無い場合

売上高は17期連続増収更新(6期連続増収増益を狙う)

実質営業利益率を10%へ

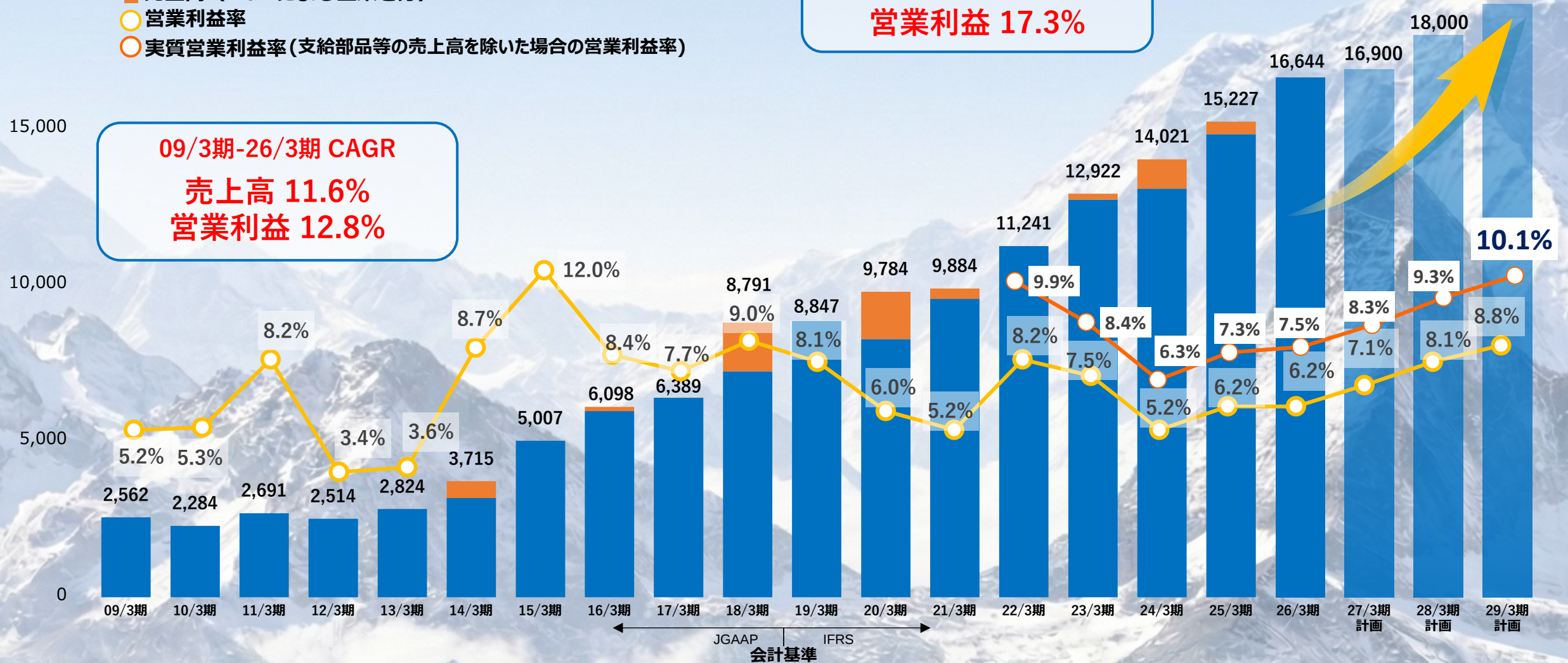
(億円)

- 売上高 (M&A除く)
- 売上高 (M&Aによる上乗せ分)
- 営業利益率
- 実質営業利益率 (支給部品等の売上高を除いた場合の営業利益率)

26/3期-29/3期 CAGR
売上高 4.5%
営業利益 17.3%

売上高 1.9兆円
営業利益 1,680億円

09/3期-26/3期 CAGR
売上高 11.6%
営業利益 12.8%



17年のパフォーマンス

単位：億円

	09/3期	26/3期	倍率	過去最高
売上高	2,562	16,644	6.5倍	16,644 26/3期 (IFRS)
営業利益	134	1,040	7.8倍	1,040 26/3期 (IFRS)
親会社の所有者に帰属する 当期利益 *特殊要因除く	24	738	30.8倍	738 26/3期 (IFRS)
基本的1株当たり 当期利益（円） *特殊要因除く	6.18	183.87	29.8倍	183.87 26/3期 (IFRS)

1株当たり
配当金

8.6倍

7円 → 60円

2009年 2027年
3月期 3月期
(予定)

株価

13.3倍

358円 → 4,756円

2009年 2026年
3月31日 6月30日

時価総額

14.2倍

1,429億円 → 2兆311億円

2009年 2026年
3月31日 6月30日

ネット
D/Eレシオ

70%改善

1.0倍 → 0.3倍

2009年 2026年
3月31日 3月31日

ROE

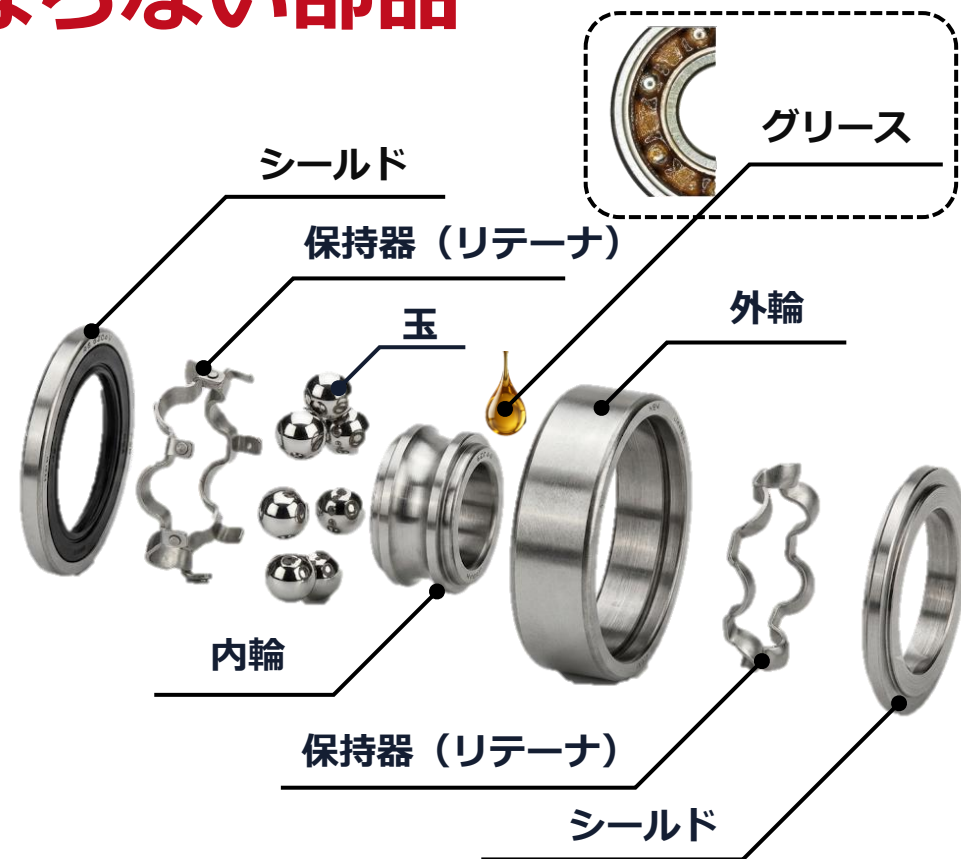
4.3倍

2.1% → 9.1%*

2009年 2026年
3月31日 3月31日

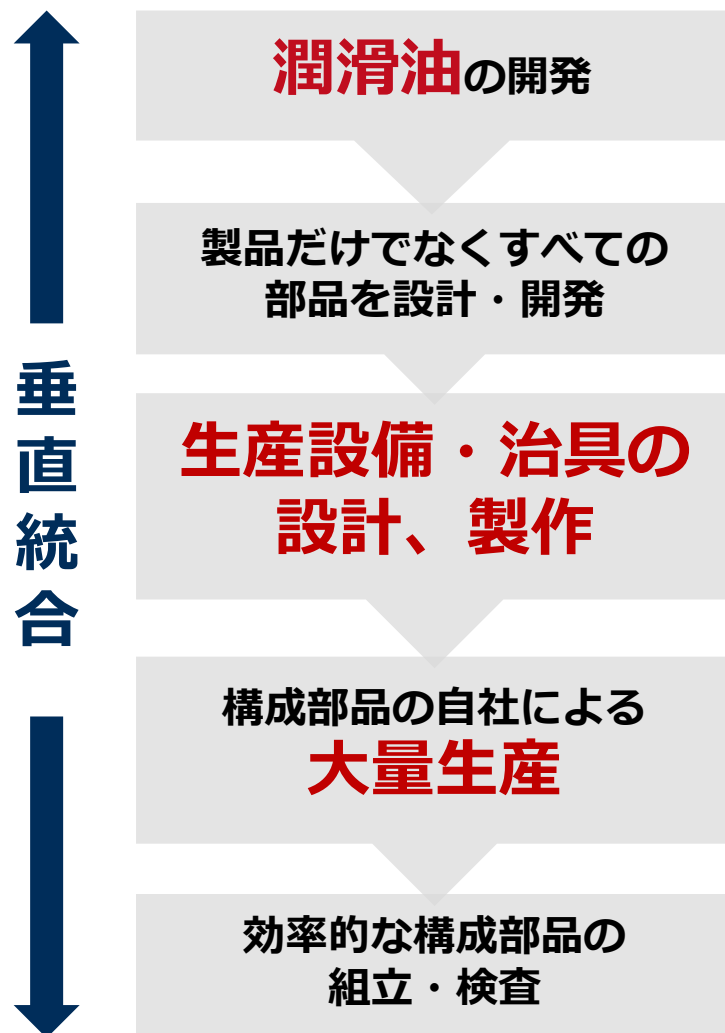
*特殊要因除く

ベアリング = 産業のコメ 生活や産業になくてはならない部品



精度 : 0.01ミクロン
生産能力 : 月産 約400,000,000 (4億) 個

超精密加工技術と大量生産を両立する垂直統合生産



1章	ミネベアミツミとその強さの秘密
2章	経営方針・成長戦略
3章	成長の5分野+1
4章	今後の売上を牽引するグローバル生産拠点
5章	カーボンニュートラル
6章	株主の皆さまへの還元
補足	17年間の軌跡

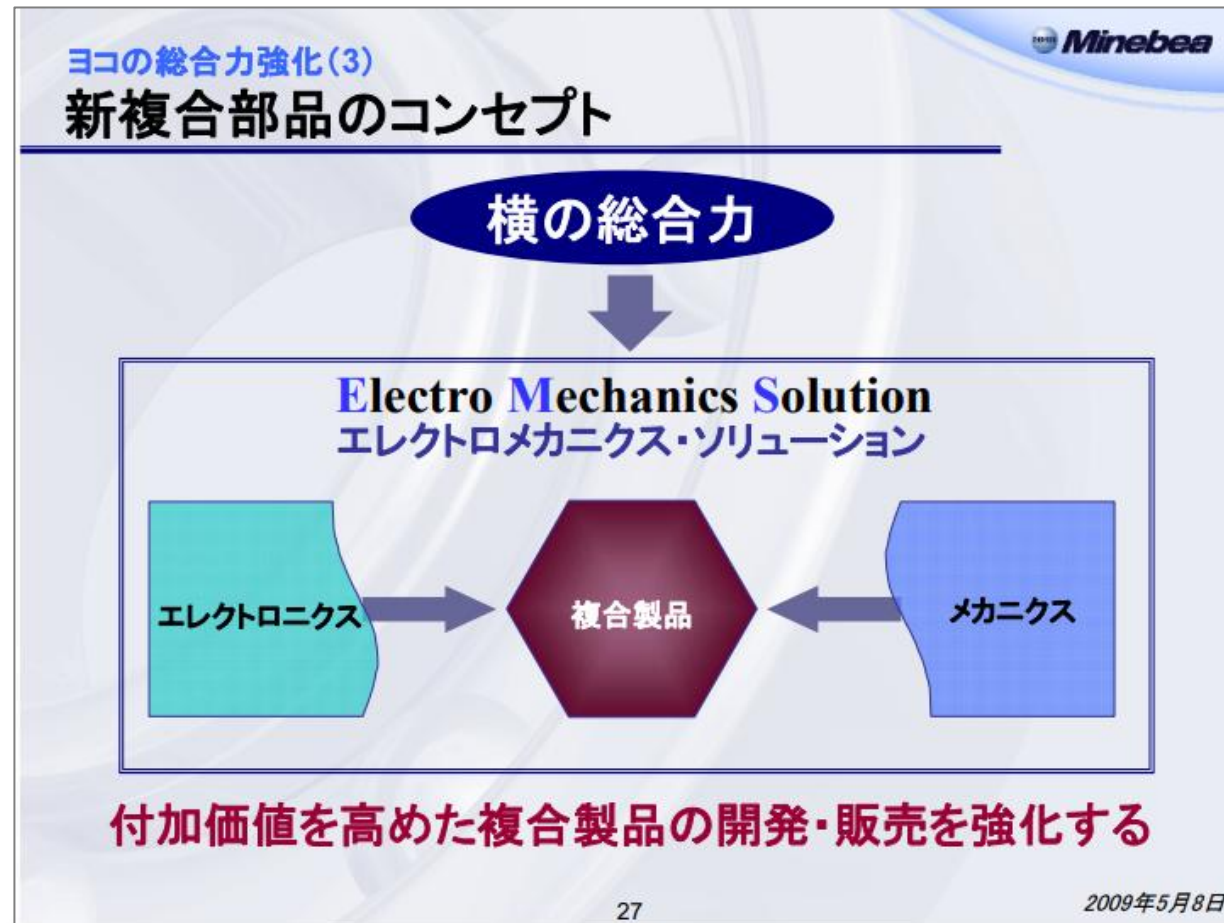
**世界を動かす、
なくてはならない会社へ**

コーポレートスローガン

常識を超えた「違い」による
新しい価値の創造

2009年：機械加工（メカニクス）と電子部品（エレクトロニクス）を融合した「**エレクトロ メカニクス ソリューションズ®**」の未来を提唱

2009年3月期
決算説明資料



2-4. 当社が目指す世界：その手段③

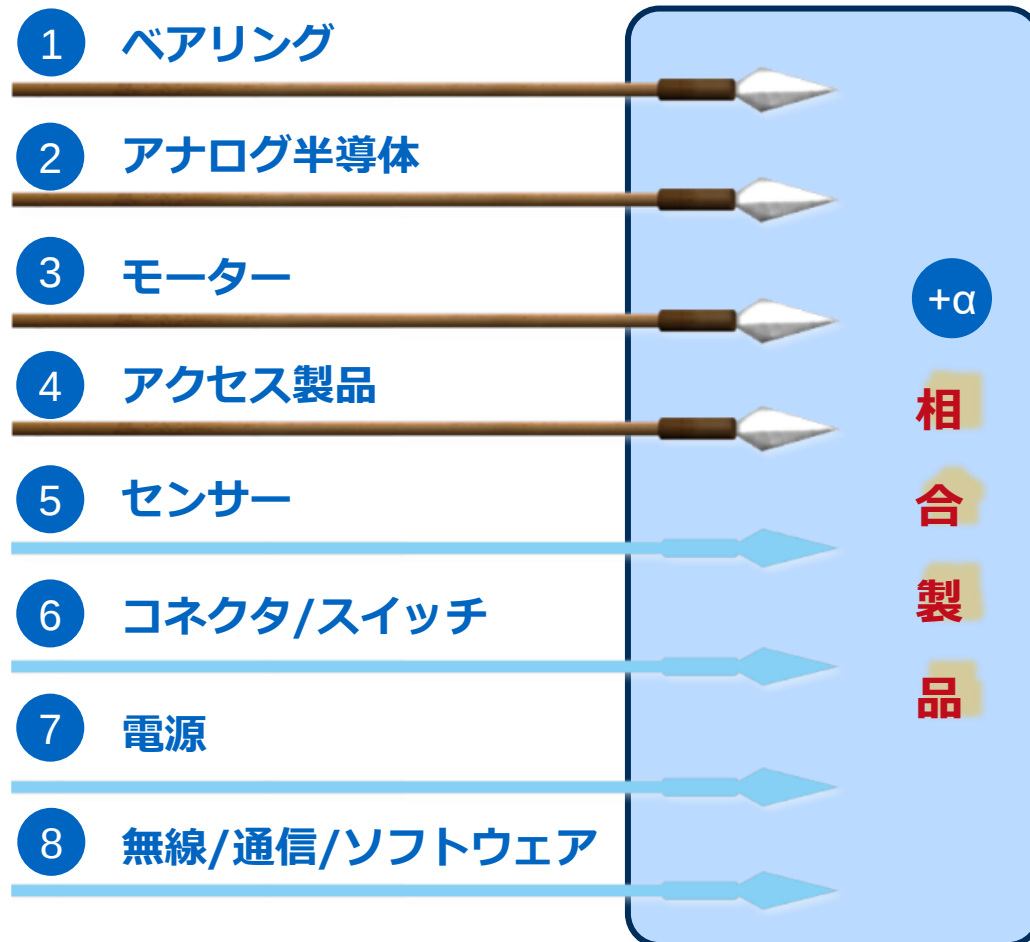
8本槍



「槍」の定義とは？

- 1 大きな市場の中のニッチ市場であること
- 2 その製品は簡単な技術革新ではなくなる
- 3 当社の強みが活かせる製品であること
- 4 「槍」とされる各製品間でシナジー（「相合」）があること

コア製品「8本槍」（製品ポートフォリオ）



2-5. 「相合」とは

あらゆるリソースを「相い合わせ」、相乗効果により 新たな価値を創造

技術の「結合」

多様なコア技術を融合、活用

超精密加工技術
大量生産技術
センサー技術(荷重・圧力など)
光学技術
MEMS技術
高周波技術
電気回路技術
半導体設計技術
機構設計技術
システム設計技術

事業の「結合」

シナジーにより各事業を強化、新製品を創出

	ベアリング	アナログ 半導体	モーター	アクセス 制御	センサー	コネクタ/ スイッチ	電源	無線/通信/ ソフトウェア
ベアリング			●	●	●			
アナログ 半導体			●	●	●		●	●
モーター	●	●		●	●	●	●	●
アクセス 制御	●	●	●		●	●	●	●
センサー	●	●	●	●			●	●
コネクタ/ スイッチ			●	●			●	●
電源		●	●	●	●	●		●
無線/通信/ ソフトウェア		●	●	●	●	●	●	

新たな価値の創造

様々な分野で社会的課題解決
に必要不可欠な製品を提供
新たな価値を創造し
持続的に成長

自動車
航空機
ロボティクス
介護・医療
インダストリー
情報通信
インフラ
住宅設備

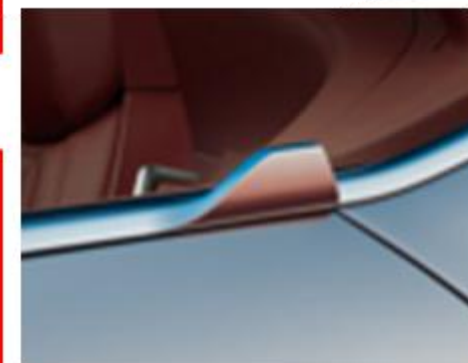
2-6. 相合事例①

自社製造

ウィング
ハンドル



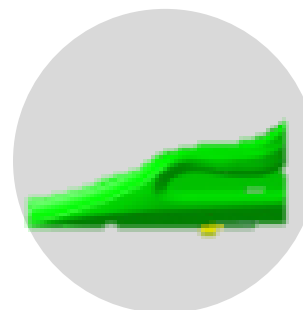
*6月30日に発表された新型「BMW X5」に搭載



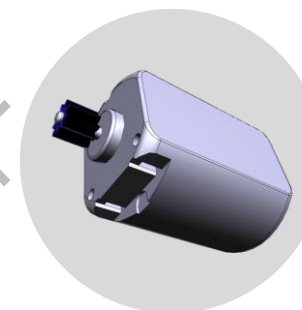
相合による高付加価値製品開発の成果が結実
BMWが採用決定

- **ドアロック、モーター、センサーの相合**により
これまでにないタッチセンサー操作による電動
ロック／アンロックが可能に
- デザイン性を高め、シンプルなドアシステムを
実現し自動車設計の自由度を高める

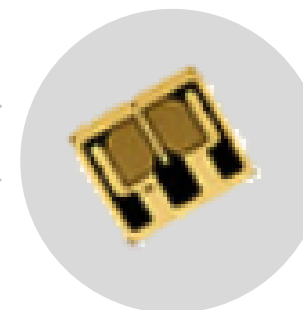
ドアロック



モーター



センサー



2-7. 相合事例②

自社製造

モーター
ドライバー
IC

相合のStep ①



ベアリング

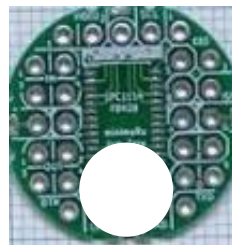
大量生産
技術

超精密
加工技術

機構設計
技術

高効率・高寿命を実現した
ベアリングを搭載

相合のStep ②



モータードライバーIC

大量生産
技術

電気回路
技術

半導体
設計技術

センサー
技術

システム
設計技術

相合製品のモータードライバーICを
組み込み、超高精度でのモーター制御
を実現



ファンモーター

コア技術の相合により、モーター関連の
ワンストップソリューションを提供

自社製造

産業用電源
モジュール

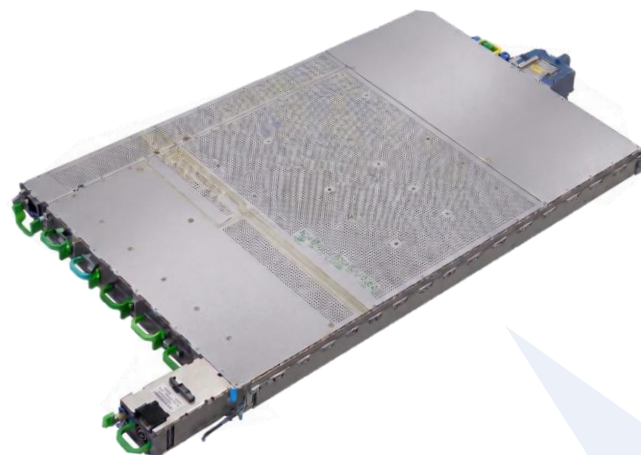
Drone



Server



EV



■ 高性能内製部品を採用し、 高効率を実現 (効率97%)

- ・ 低損失 & 高信頼性の内製パワー半導体
- ・ 冷却性能を改善したファンモーター
- ・ 高信頼性の大電流コネクタ

■ 高効率化及び設計最適化で 軽量化を実現

- ・ 高効率化を達成することにより
ヒートシンク/リアクタンスの
ダウンサイジング
- ・ 独自回路方式採用による部品点数の削減



自社製造

ベッドセンサー
システム

『未来の眠り』を再現する コンセプトベッド



2025年大阪・関西万博パソナグループのパビリオン「PASONA NATUREVERSE」展示

バイタルモニター
のイメージ



ニトリ様で発売中

コンセプトベッドに採用された一部技術を利用した「センサーベッド」

■「未来の眠り」を再現する ミネベアミツミの技術

- ・ 高分解能、高性能なひずみゲージを用いたベッドセンサーシステム
- ・ 社内で開発したシステムによりバイタル情報を天蓋に的確に表示
- ・ 振動を使用し音を生み出すレゾナントデバイス
- ・ 心地よい睡眠環境を演出する、スマートLED照明（SALIOT）
- ・ 体の状態に合わせて、睡眠環境を整える物理的駆動に対するシステム信号制御

2-10. 社会的課題解決に求められる「4高」技術

解決すべき社会的課題

少子高齢化・人口問題・医療問題・遠隔地医療の充実
EV・自動運転・環境・ロボティクス・エネルギー問題・温暖化 etc.

Needs (ニーズ)

電動化

+

自動化 (AI)

+

超高速通信

+

センシング (制御)

Seeds (シーズ) : 「4高」技術

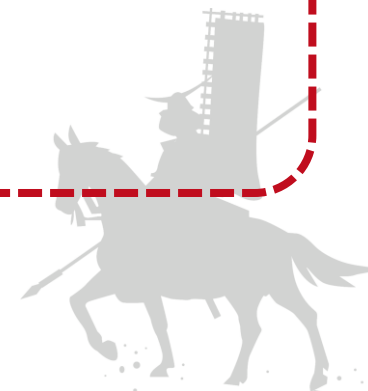
高電圧

高電流

高周波

高速

これらに必要な製品こそ… **8 本槍製品**



成長の5分野+ 1 (注力アプリケーション)



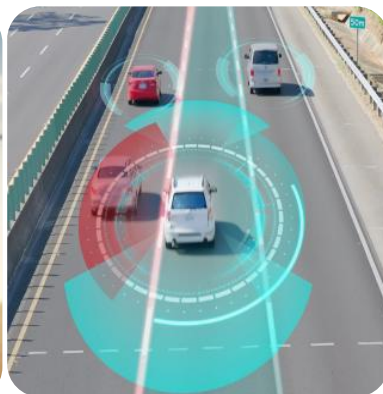
AIサーバー



ヒューマノイド
ロボット



商用ドローン



完全自動運転
(LiDAR)



ニューモビリ
ティ



航空宇宙

技術の進展とともに社会が必要とするデバイスはEMSへ

小型化 ・ 電子化 ・ メカと電子の融合

1

メカニクスの時代



8mmビデオカメラ・ビデオデッキ
自動車・冷蔵庫

2

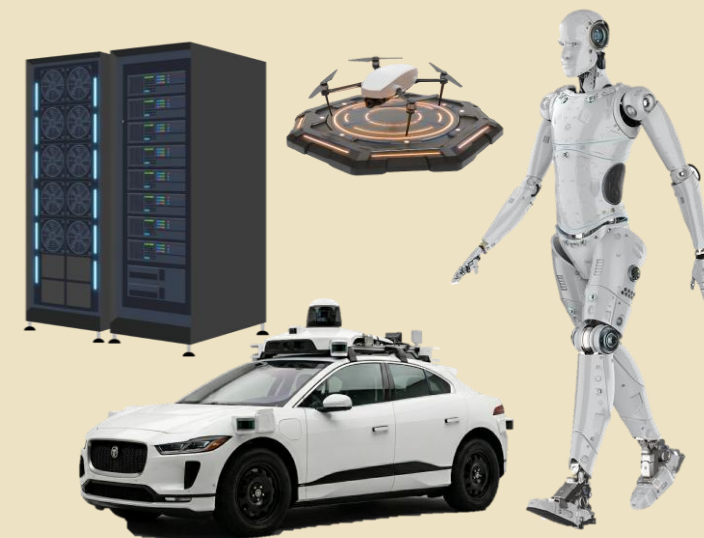
エレクトロニクスの時代



PC・スマホ・タブレット

3

エレクトロ メカニクス
ソリューションズ®



AIサーバー・商用ドローン
ヒューマノイドロボット
自動運転・ニューモビリティ

機電ソフト一体（Electro Mechanics Solutions™）の深化

これからの世界は、エレクトロ メカニクス ソリューションズ®が鍵を握る時代へ

アナログ技術の重要性

中国勢に負けない競争力の源泉

- ・ベアリングは製造装置まで自社で内製
- ・工程ごとの専門人材で徹底した情報管理
- ・これらアナログ技術の蓄積が模倣困難な強みへ

「相合」による圧倒的優位

多岐にわたる技術と製品のシナジー

- ・「8本槍」に代表される豊富な製品群
- ・多岐にわたる要素技術を融合（相合）
- ・複雑化する顧客ニーズへ迅速に対応

1章	ミネベアミツミとその強さの秘密
2章	経営方針・成長戦略
3章	成長の5分野+1
4章	今後の売上を牽引するグローバル生産拠点
5章	カーボンニュートラル
6章	株主の皆さまへの還元
補足	17年間の軌跡

成長の5分野+ 1 (注力アプリケーション)



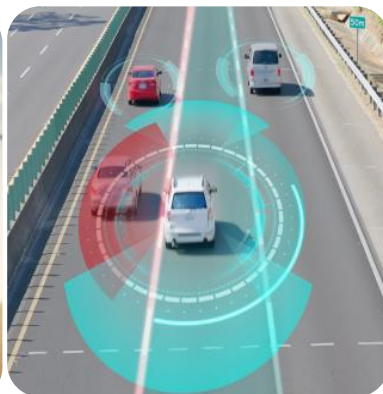
AIサーバー



ヒューマノイド
ロボット



商用ドローン



完全自動運転
(LiDAR)



ニューモビリ
ティ



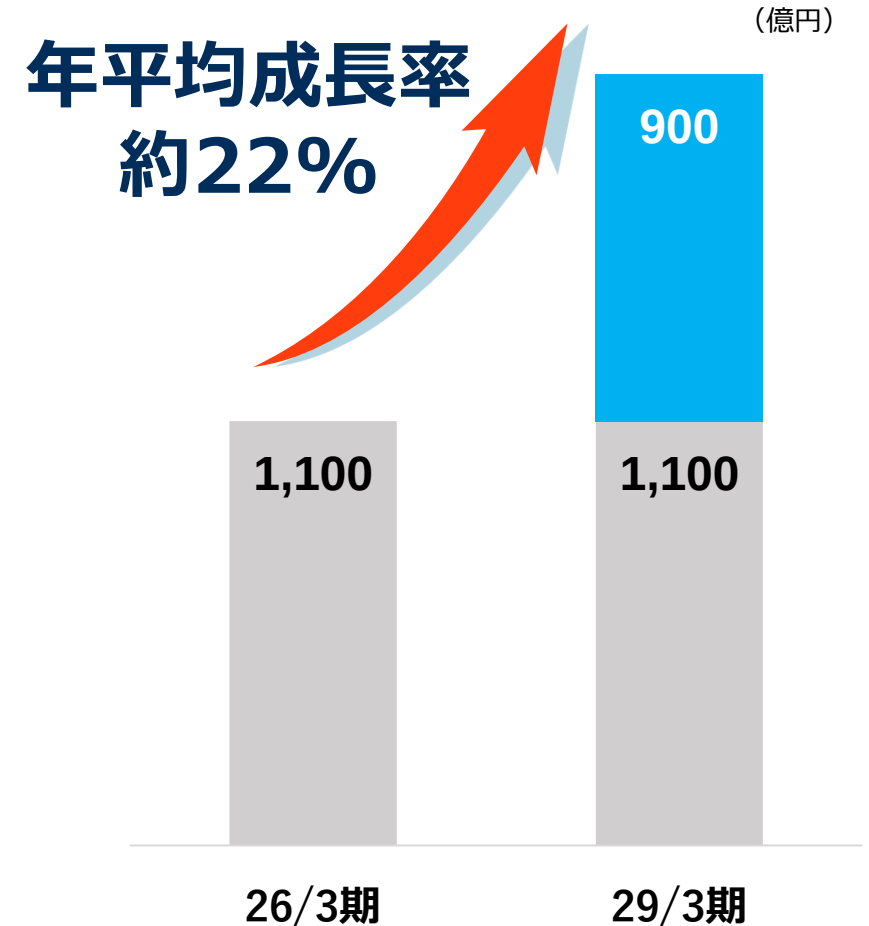
航空宇宙



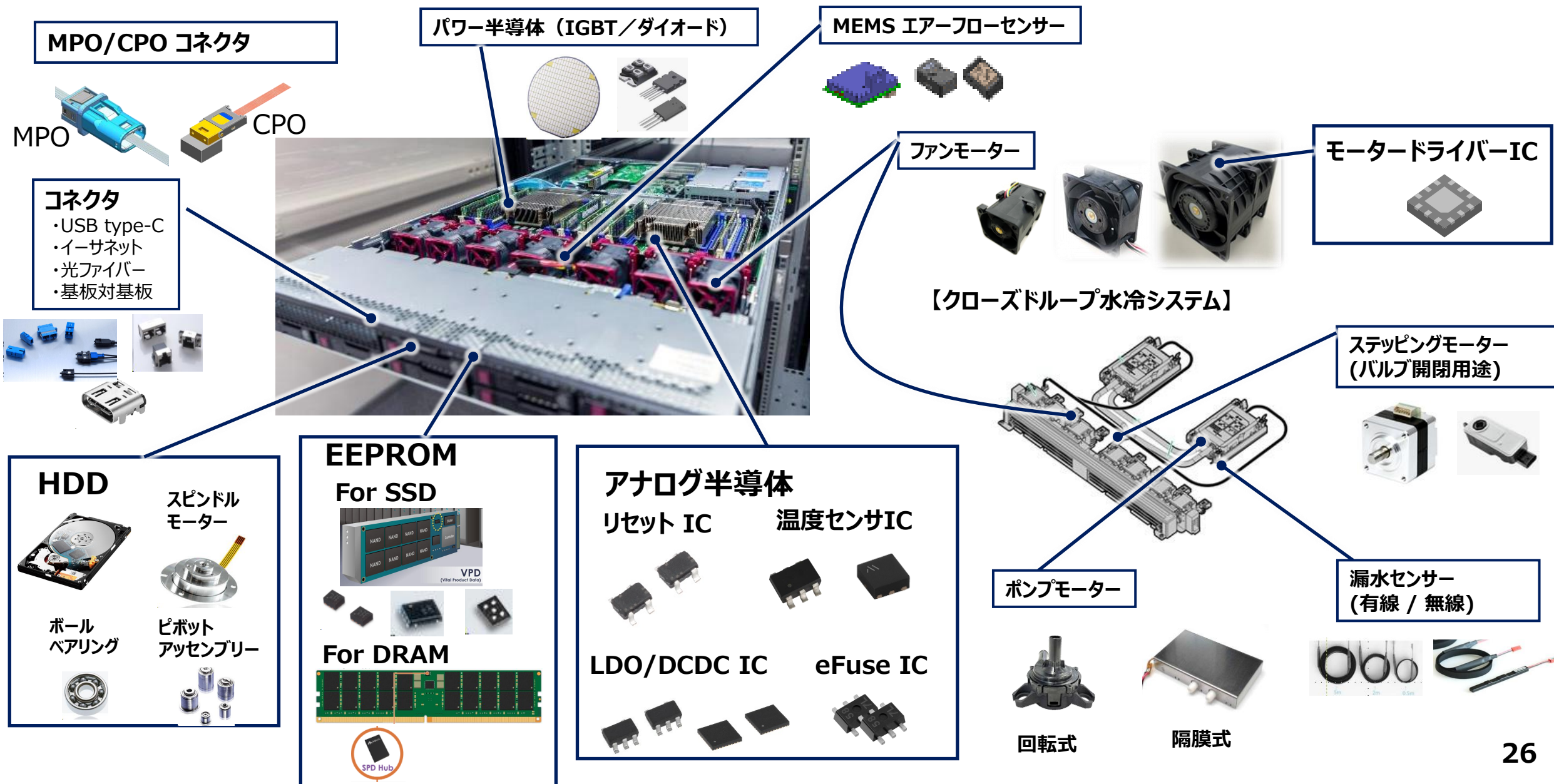
AIサーバー

2029年3月期 売上高見込み :

2,000億円



3-3. 成長の5分野 : AIサーバー



3-4. 成長の5分野 : AIサーバー (冷却ファン)

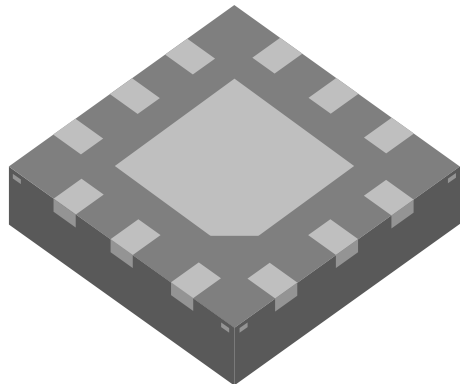


ファンモーター



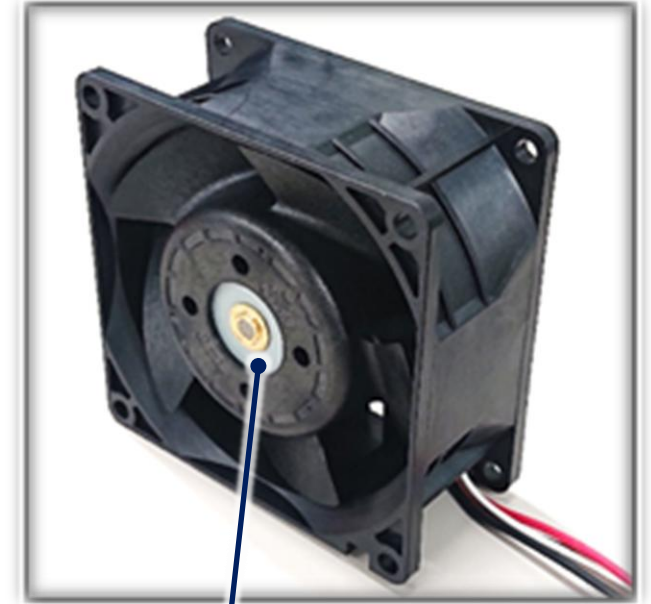
【2重反転ファン】

モータードライバーIC



ベアリング

× 4



ベアリング



× 2

3-5. 成長の5分野 : AIサーバー (HDD)



スピンドルモーター



ピボットアッセンブリー

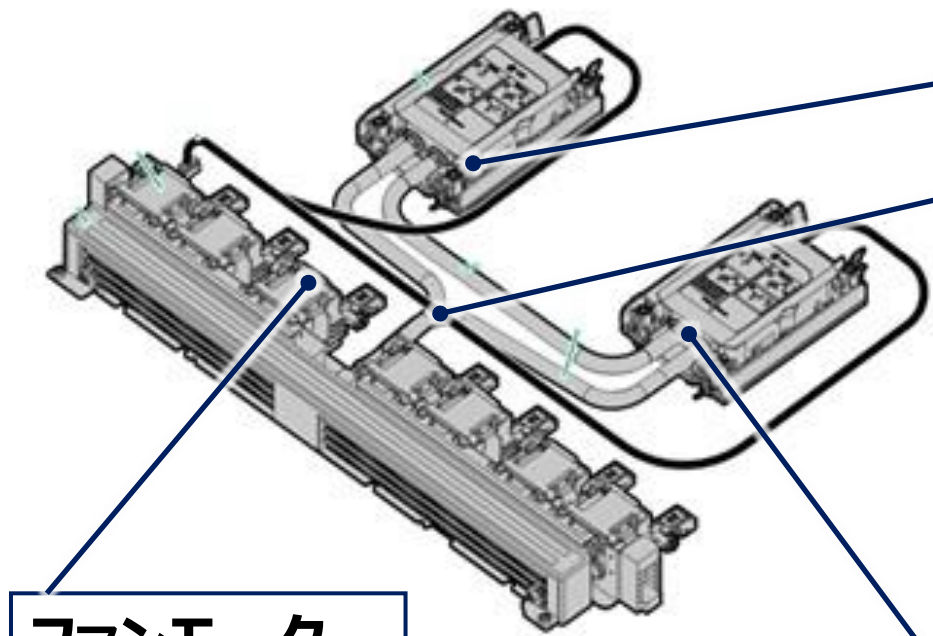


ベアリング



3-6. 成長の5分野 : AIサーバー（クローズドループ水冷システム）

【クローズドループ水冷システム】



ファンモーター

ステッピングモーター
(バルブ開閉用途)



ポンプモーター

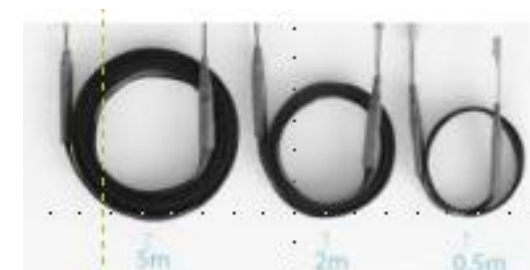
回転式



隔膜式

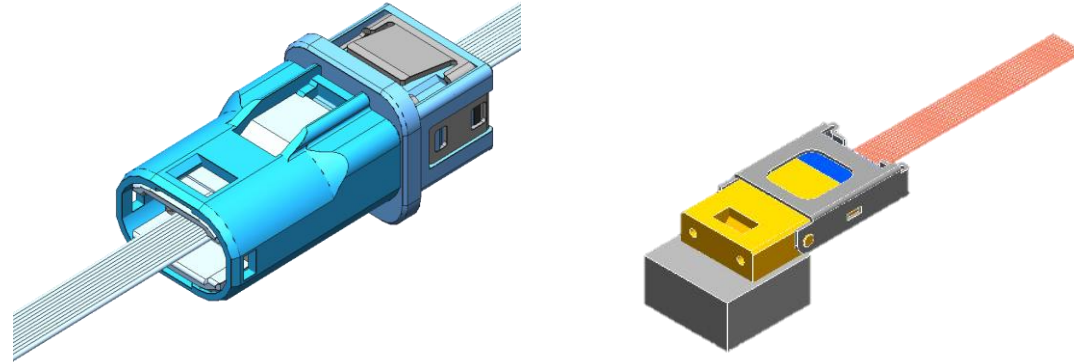


漏水センサー(有線 / 無線)



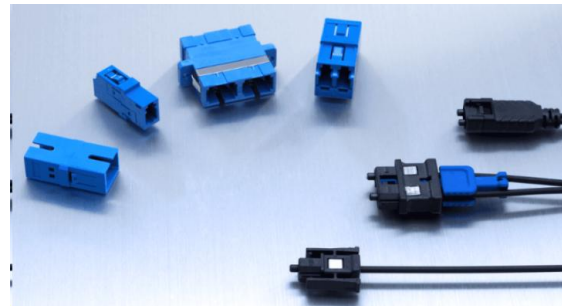


MPO/CPO コネクタ



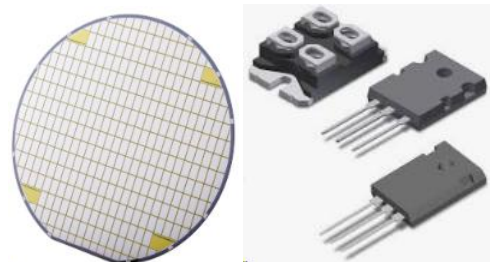
コネクタ

- USB type-C
- イーサネット
- 光ファイバー
- 基板対基板

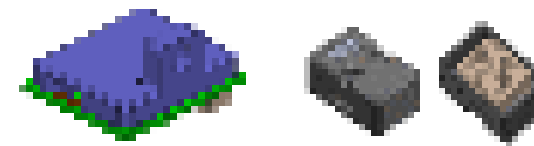


3-8. 成長の5分野 : AIサーバー (半導体)

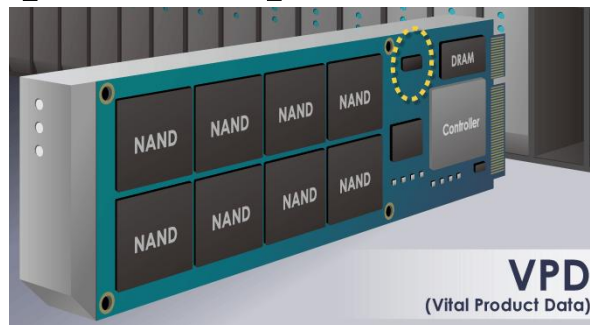
パワー半導体 (IGBT/ダイオード)



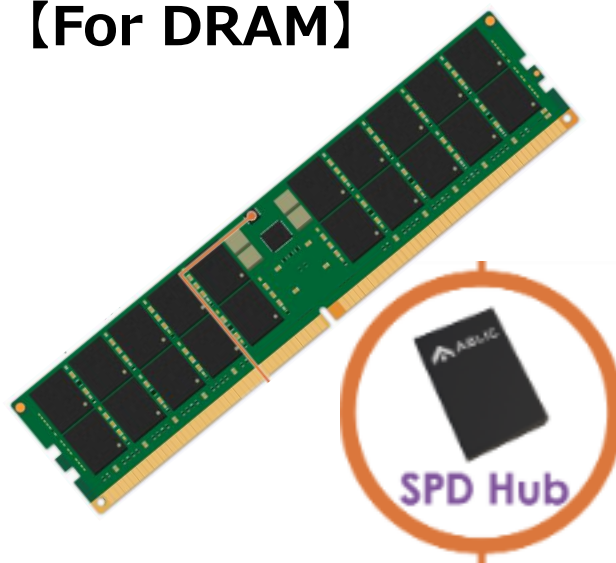
MEMS エアフローセンサー



EEPROM 【For SSD】



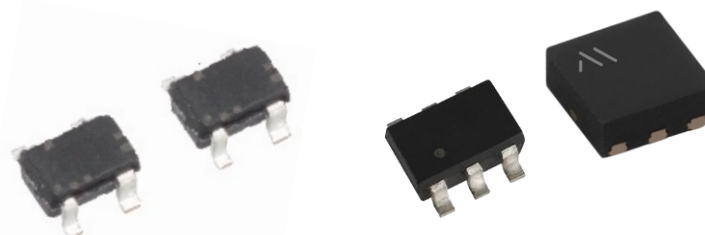
【For DRAM】



アナログ半導体

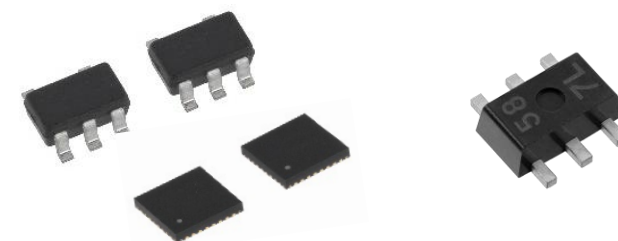
リセット IC

温度センサIC



LDO/DCDC IC

eFuse IC



3-9. 成長の5分野 : AIサーバー (サーバー冷却ラック)

ステッピングモーター (バルブ開閉用途)



大型ファンモーター



MEMS エアフローセンサー



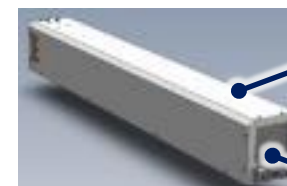
温度センサーIC



圧力センサー



バッテリーバックアップユニット (BBU)
(*非ミネベアミツミ製品)



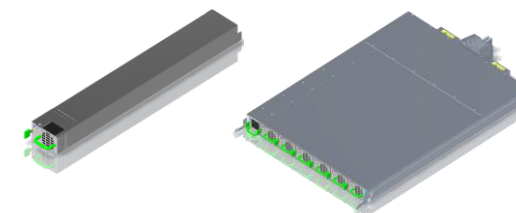
バッテリー保護モジュール



ファンモーター

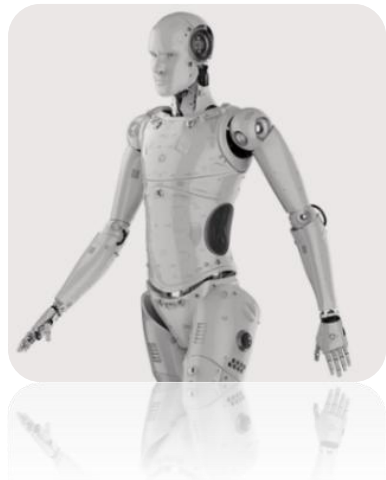


電源ユニット / パワーシェルフ



IRセンサー (赤外線温度センサー)

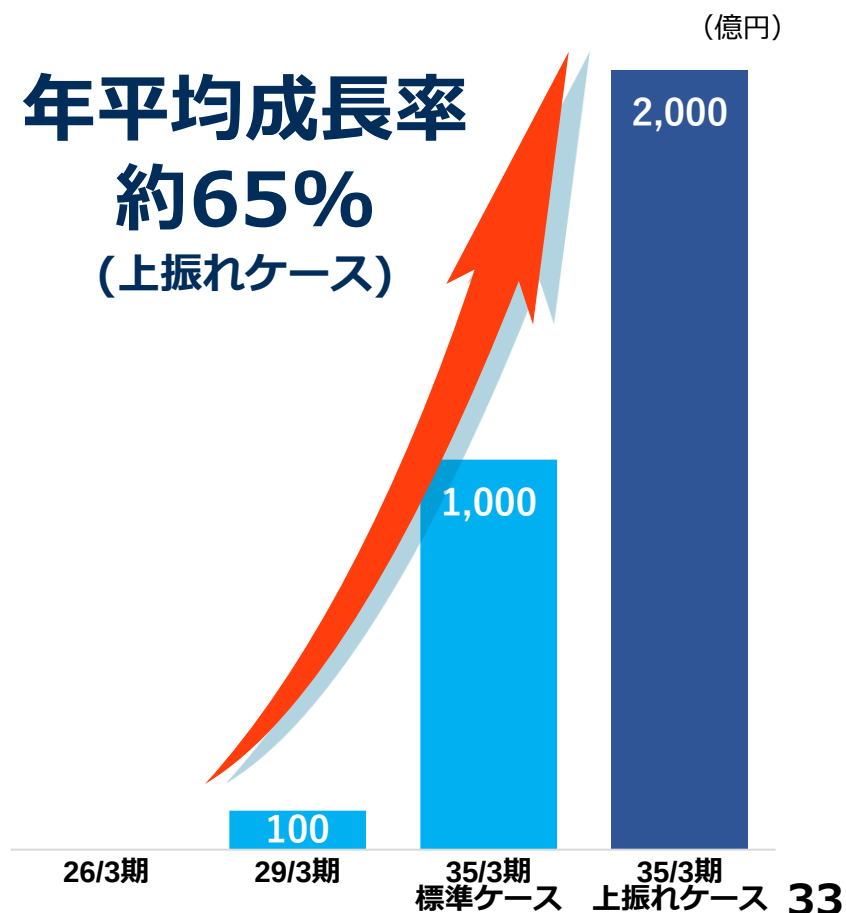




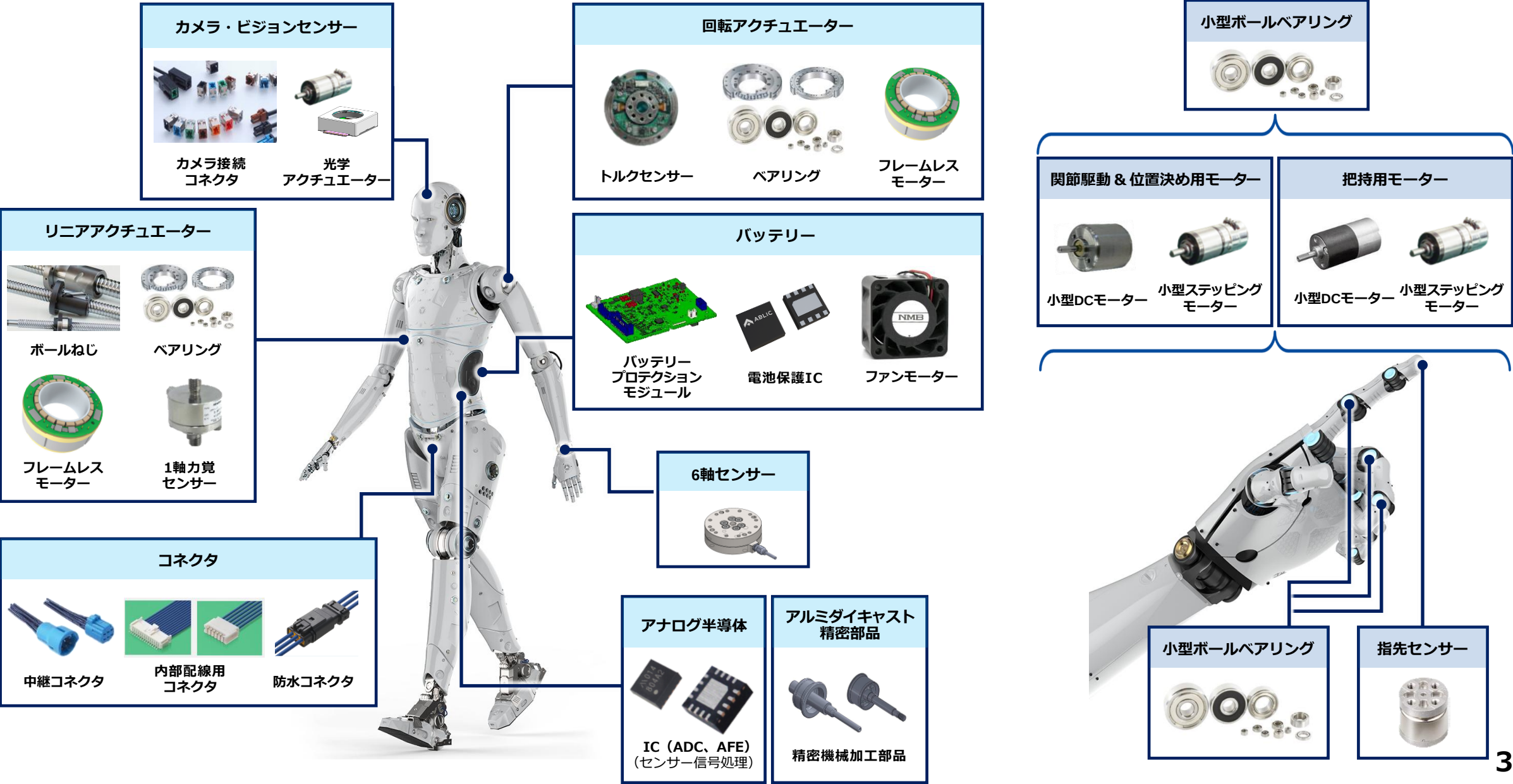
ヒューマノイドロボット

2035年3月期 売上高見込み：

2,000億円

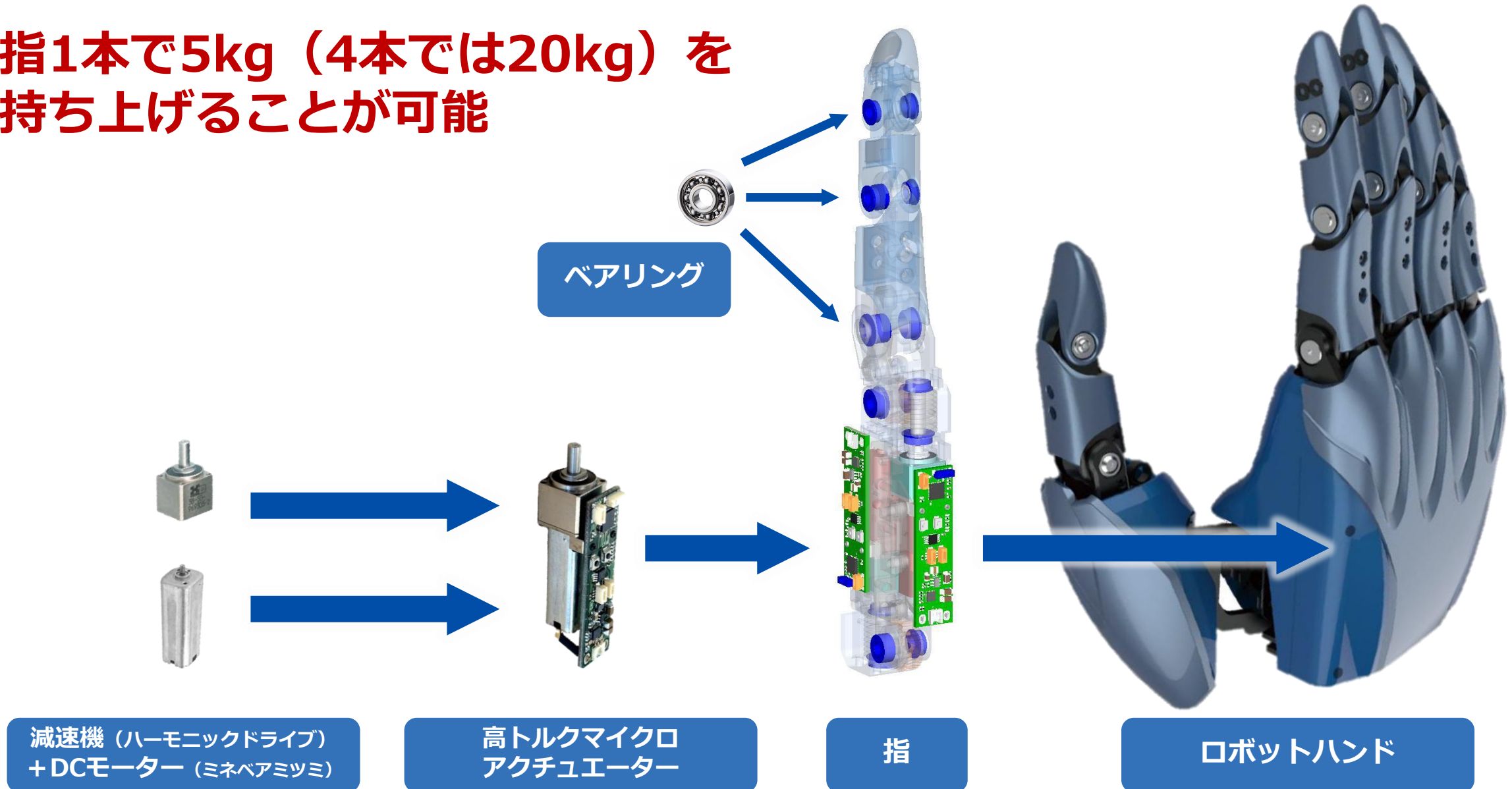


3-11. 成長の5分野：ヒューマノイドロボット



3-12. 成長の5分野：ヒューマノイドロボット（ロボットハンド）

指1本で5kg（4本では20kg）を
持ち上げることが可能

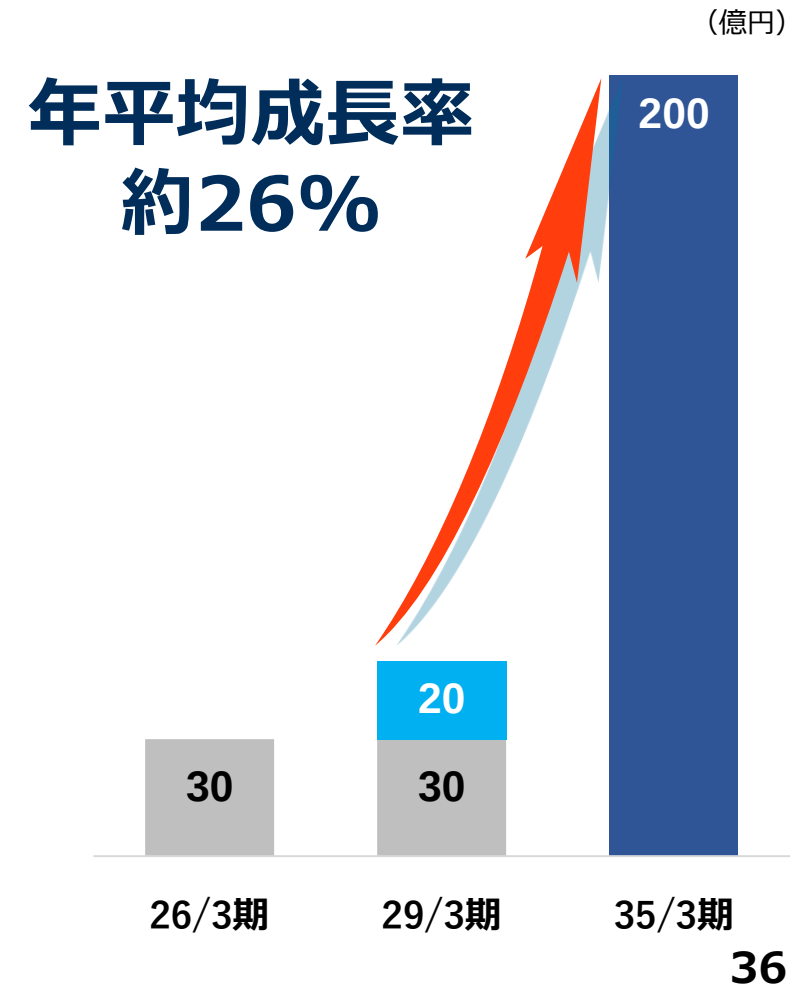




商用ドローン

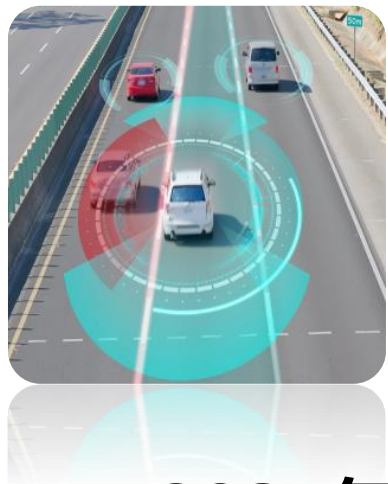
2035年3月期 売上高見込み：

200億円



3-14. 成長の5分野：商用ドローン

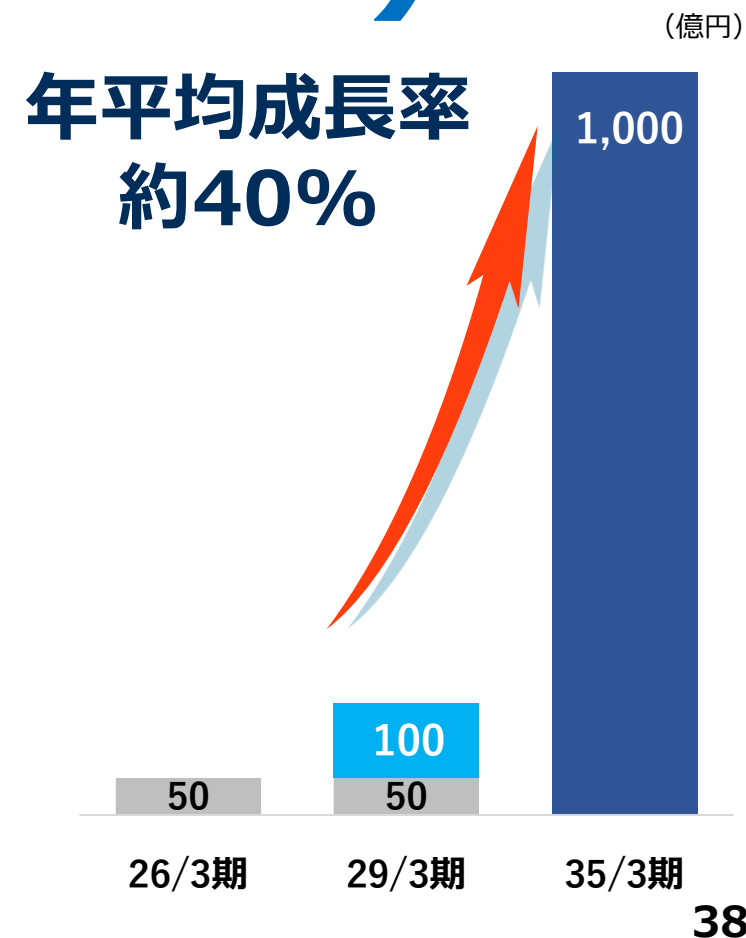




完全自動運転(LiDAR)

2035年3月期 売上高見込み：

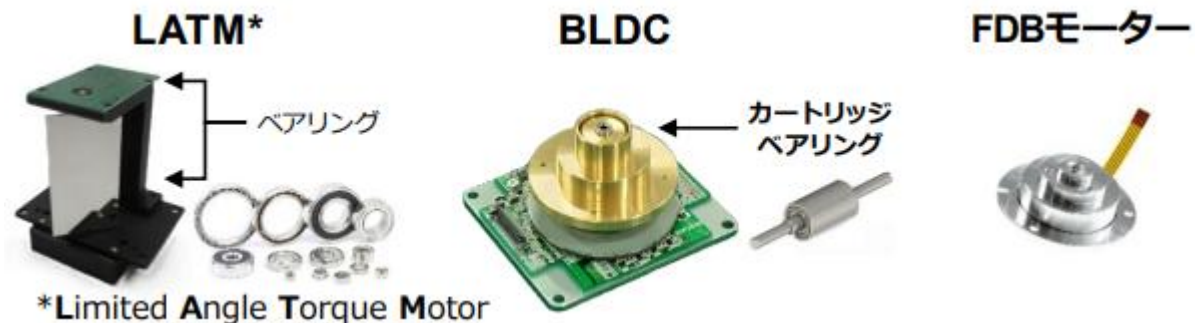
1,000億円



3-16. 成長の5分野：完全自動運転(LiDAR)



<LiDARミラー駆動ソリューション>



<スキャニング方式：回転式、半固定式>

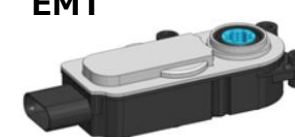


<その他LiDARソリューション>

- ・コントロール基板冷却
ファンモーター



- ・LiDARセンサクリーニング
LiDARワイパー EMT カメラワイパー

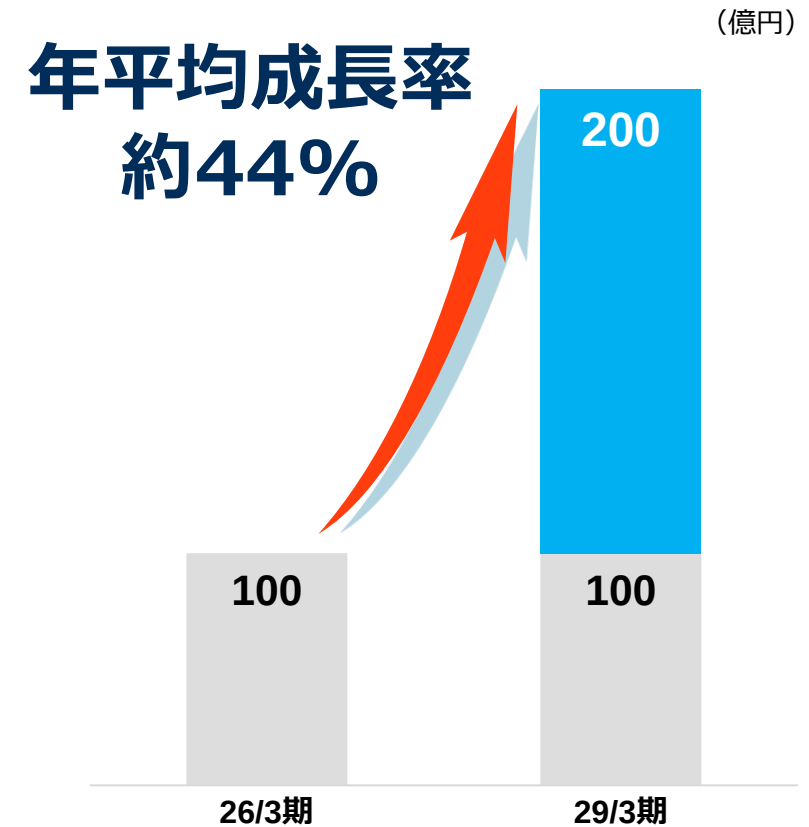




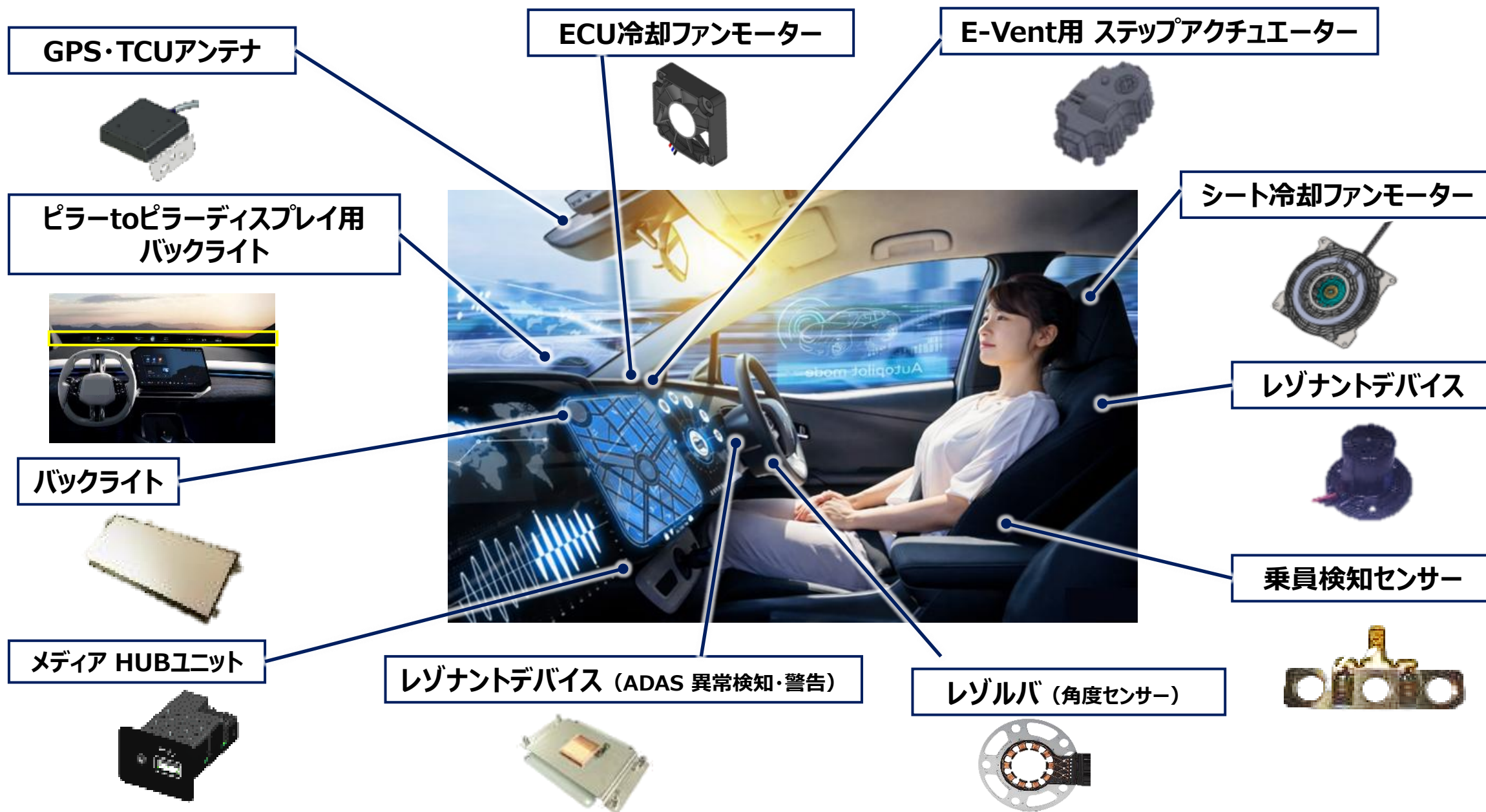
ニューモビリティ

2029年3月期 売上高見込み：

300億円



3-18. 成長の5分野：ニューモビリティ

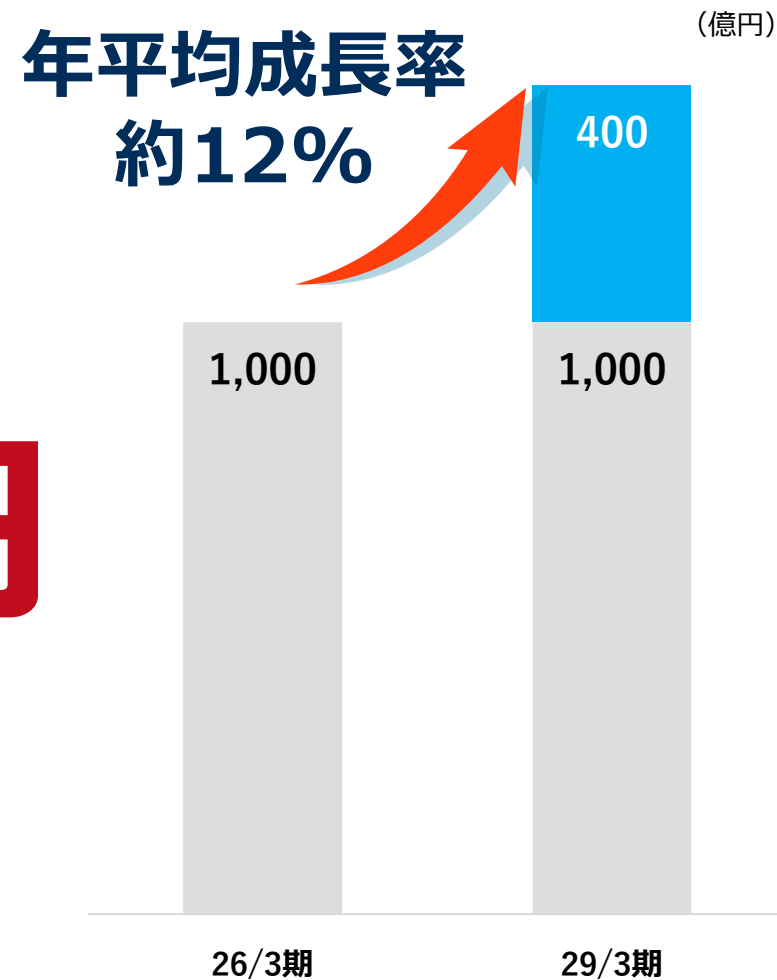




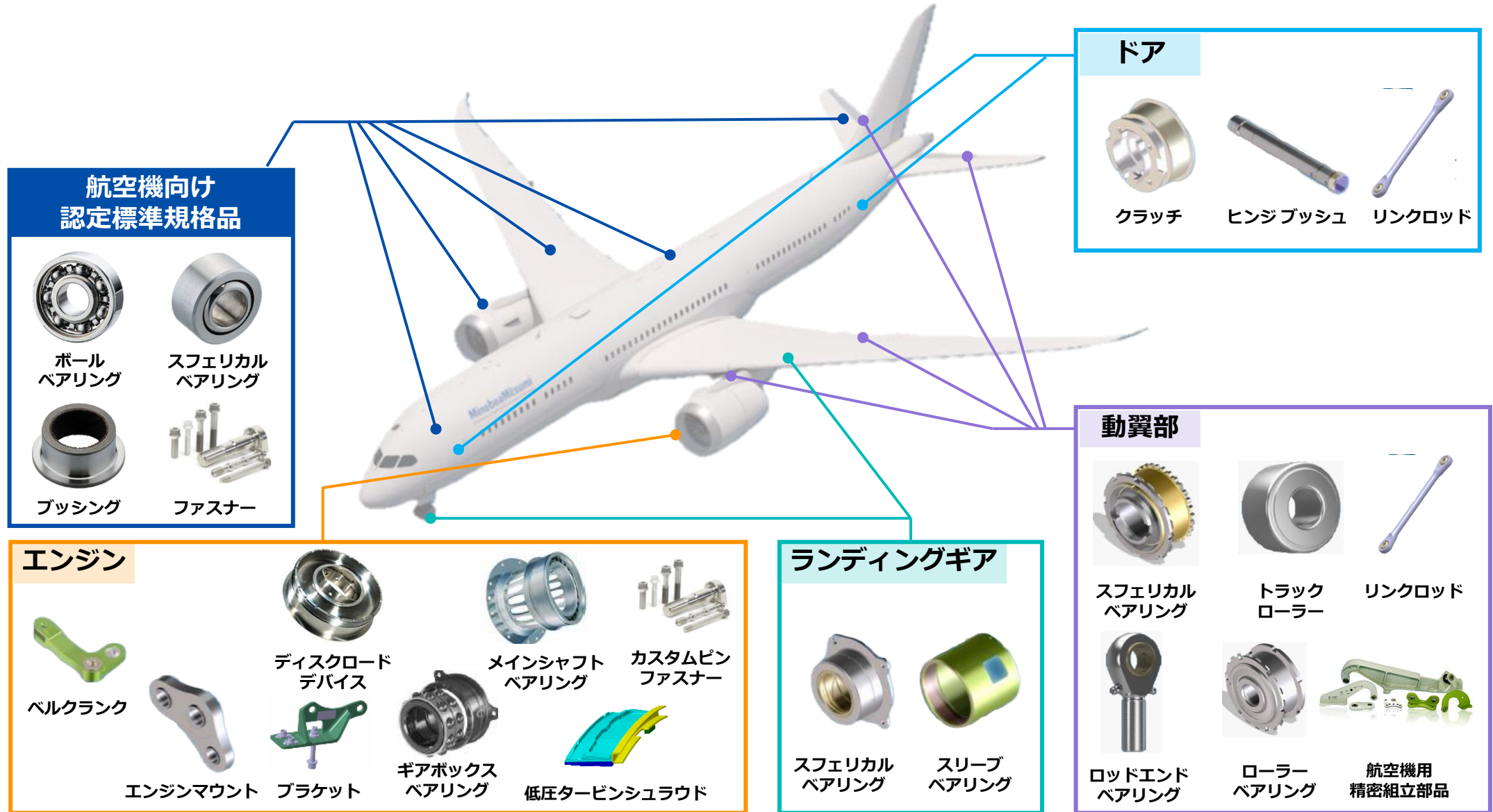
航空宇宙

2029年3月期 売上高見込み：

航空 **1,400億円**



3-20. プラスワン: 航空宇宙 (航空)



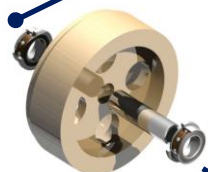
3-21. プラスワン: 航空宇宙（宇宙）

【人工衛星】

ハイブリッドセラミックボールベアリング



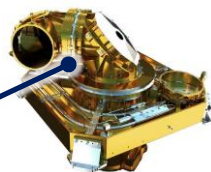
【リアクションホイール・アセンブリ】



複列アンギュラコンタクトボールベアリング

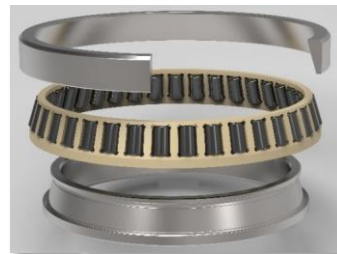


【レーザー宇宙通信端末（LCT）】



【宇宙輸送用ロケット&推進システム】

ローラーベアリング



【ロケット燃料供給用プレバルブ】



ベアリング

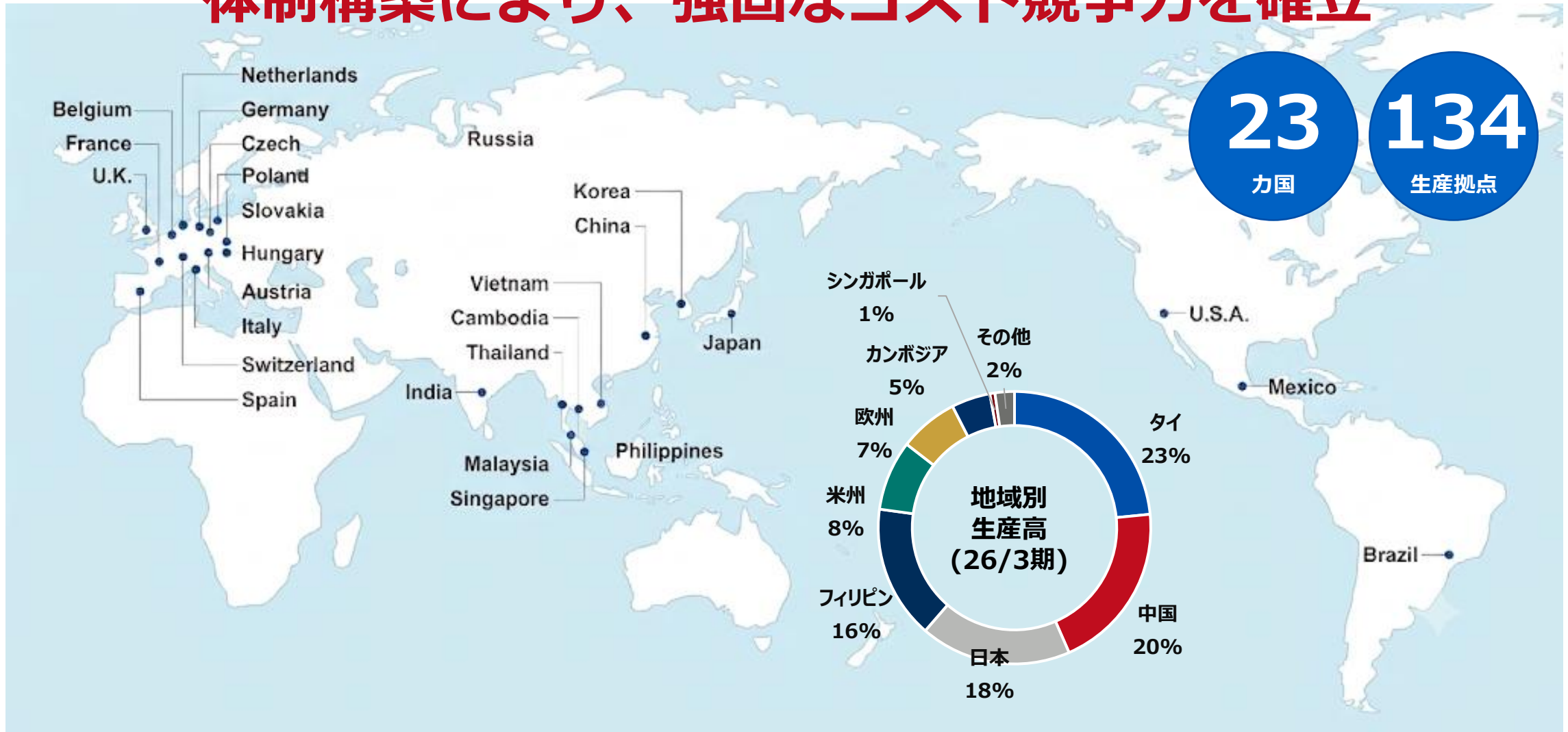


【スロットルバルブ & ターボポンプ】



1章	ミネベアミツミとその強さの秘密
2章	経営方針・成長戦略
3章	成長の5分野+1
4章	今後の売上を牽引するグローバル生産拠点
5章	カーボンニュートラル
6章	株主の皆さまへの還元
補足	17年間の軌跡

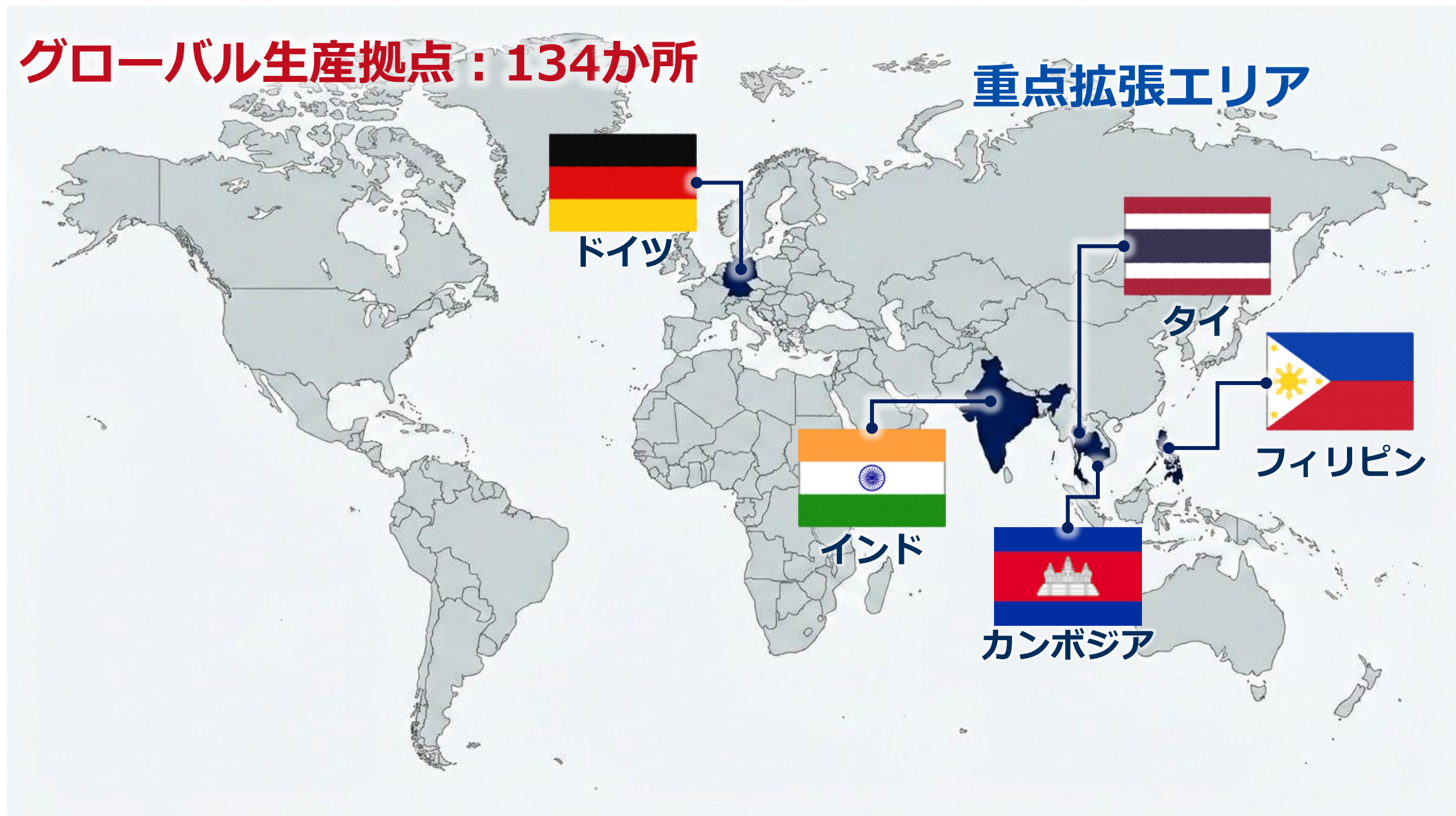
1970年代より海外展開を推進し、最適なグローバル生産体制構築により、強固なコスト競争力を確立



4-2. 今後の売上げを牽引するグローバル生産拠点

グローバル生産拠点：134か所

重点拡張エリア



4-3. グローバル生産拠点①



名称	カンボジア・ プルサット工場
敷地 規模	約500,000m ²
生産 品目	・ベアリング ・PMC製品 (Precision Mechanical Components)

4-4. 当社のグローバル生産拠点②



名称	タイ・ロップリ工場 11号棟
延床 面積	約16,500㎡
生産 品目	• ロッドエンド ベアリング • スフェリカル ベアリング • スリーブ • メタルブッシュ

4-5. グローバル生産拠点③



名称 **フィリピン・
セブ工場14号棟**

延床 1階14,413 m²
面積 2階14,413 m²

生産 アナログ半導体
品目



名称	インド・ Mach Aero 第3工場
延床 面積	約8,000㎡（2階建て）
生産 品目	• 航空機用エンジン 部品 • 航空機機体関連部 品

4-7. グローバル生産拠点⑤



名称	インド・ チェーンナイ工場 (予定地)	
敷地 規模	約100,000㎡	
生産 品目	・ パワー半導体 ・ 車載モーター	

4-8. グローバル生産拠点⑥



名称	ミネベア アクセス ソリューションズ インド工場
延床 面積	約3,400㎡
生産 品目	二輪車等向け部品等



名称	ドイツ・セロベア (新棟)
延床面積	約4,000㎡
生産品目	ベアリング (航空宇宙向け)

1章	ミネベアミツミとその強さの秘密
2章	経営方針・成長戦略
3章	成長の5分野+1
4章	今後の売上を牽引するグローバル生産拠点
5章	カーボンニュートラル
6章	株主の皆さまへの還元
補足	17年間の軌跡

自社大規模太陽光発電システムを導入

■カンボジア工場

- ・再生エネルギー**100%**を実現
- ・カンボジア国内GHG削減に貢献



【事業ライフサイクルにおける予測値】

発電規模：50MW
総投資額：60億円
売電収入：200億円
事業期間：20年

■タイ工場（ロブブリ・バンパイン）

- ・約**50%**が再生エネルギーへ
- ・グループ全体の使用電力の12.5%相当



発電規模：150MW
総投資額：200億円
売電収入：620億円
事業期間：25年

■フィリピン工場（セブ・ナガ）

- ・再生電力調達契約(PPA) 締結
- ・使用電力**100%**再生エネルギー達成^{*1}



発電規模：7.9MW
総投資額：13億円
効果金額^{*2}：65億円
事業期間：25年

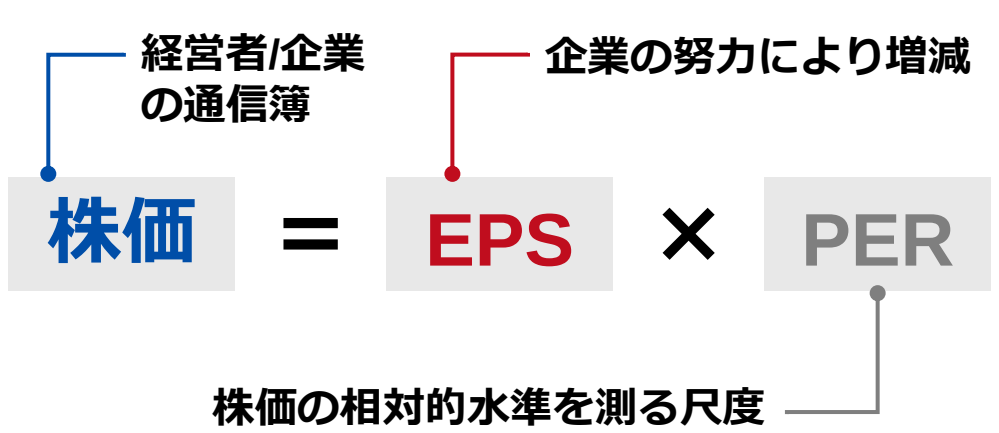
*1自家発電と外部調達の合算

*2電力費用削減効果金額

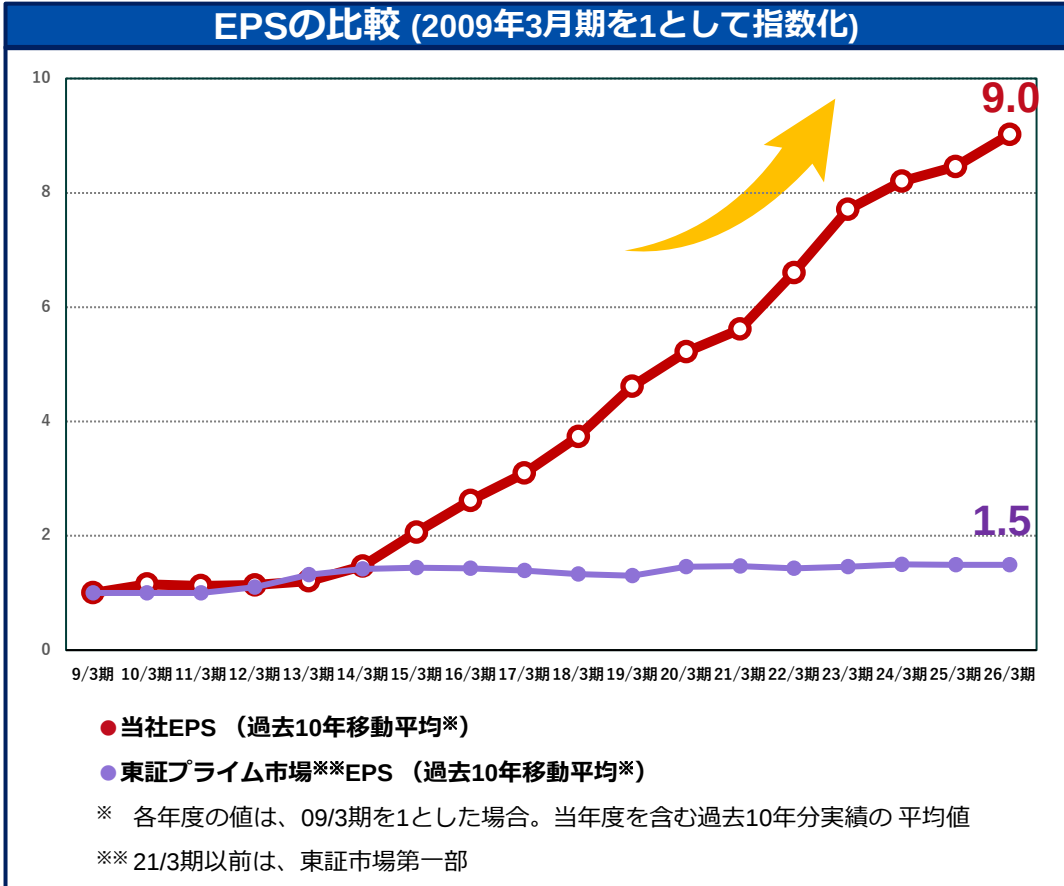
1 章	ミネベアミツミとその強さの秘密
2 章	経営方針・成長戦略
3 章	成長の5分野+1
4 章	今後の売上を牽引するグローバル生産拠点
5 章	カーボンニュートラル
6 章	株主の皆さまへの還元
補足	17年間の軌跡

6-1. 一株当たり純利益(EPS※)の考え方および成長

EPSの成長を通じて、株主の皆さまと共に価値を創造
2029年3月期に向けて年平均成長率15%以上を目指す



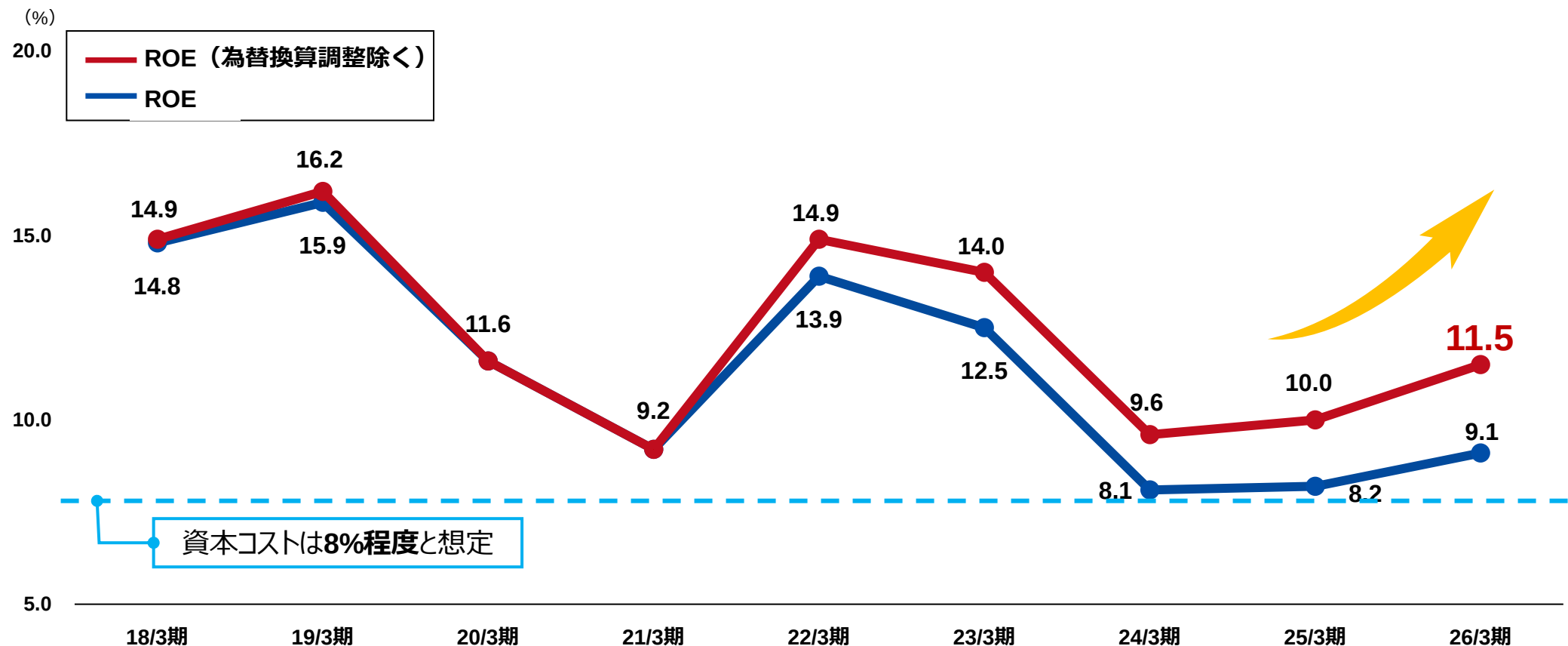
EPS : 当社が重要視する
経営指標



※EPS : Earnings Per Shareの略で、1株当たりの当期純利益を指す。当期純利益を期中平均発行済株式数で除した数値。

6-2. 自己資本利益率(ROE※)の成長

**実質ベース(為替換算調整除く)で、株主資本コストを大きく上回る水準で推移
長期目標として15%以上を目指す**



2019年3月期よりIFRSを適用しており、IFRSでの数値がある2018年3月期以降を記載

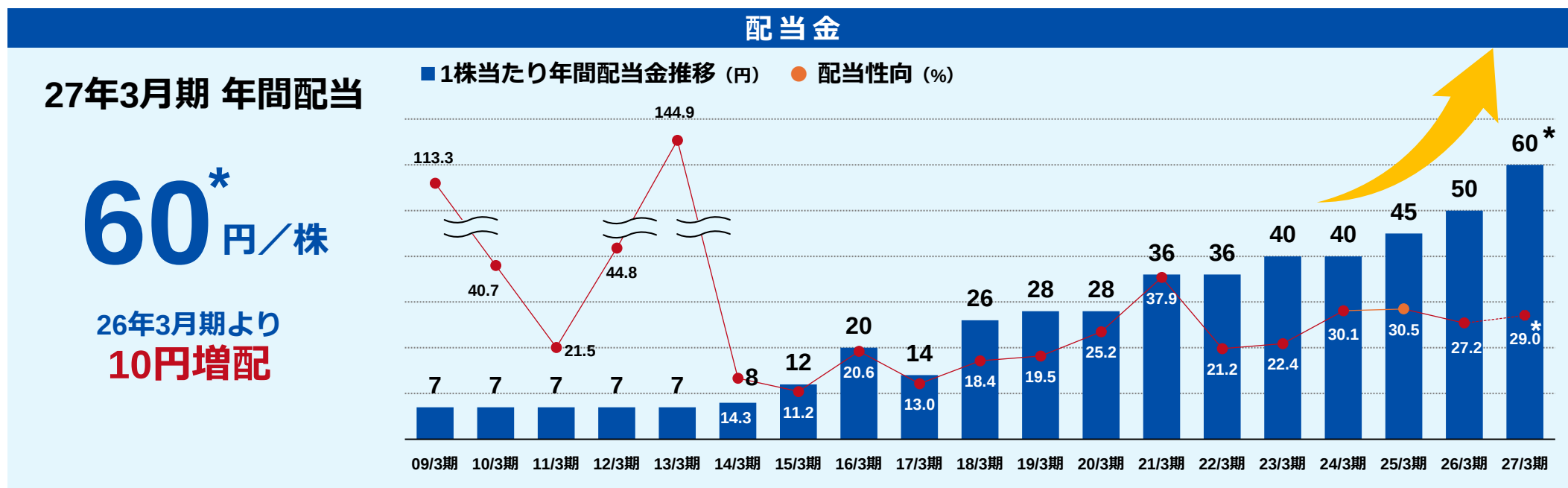
※ROE：Return On Equityの略で、株主が拠出した自己資本を用いて企業がどれだけの利益をあげたかを測る指標。

安定的な配当成長と機動的な自己株式取得を実施

持続的・安定的な配当：中期的なキャッシュアロケーションポリシーに基づき、安定した配当を実施

連結配当性向30%：安定した収益基盤と事業成長の見通しを背景に、今後の連結配当性向を30%程度と想定

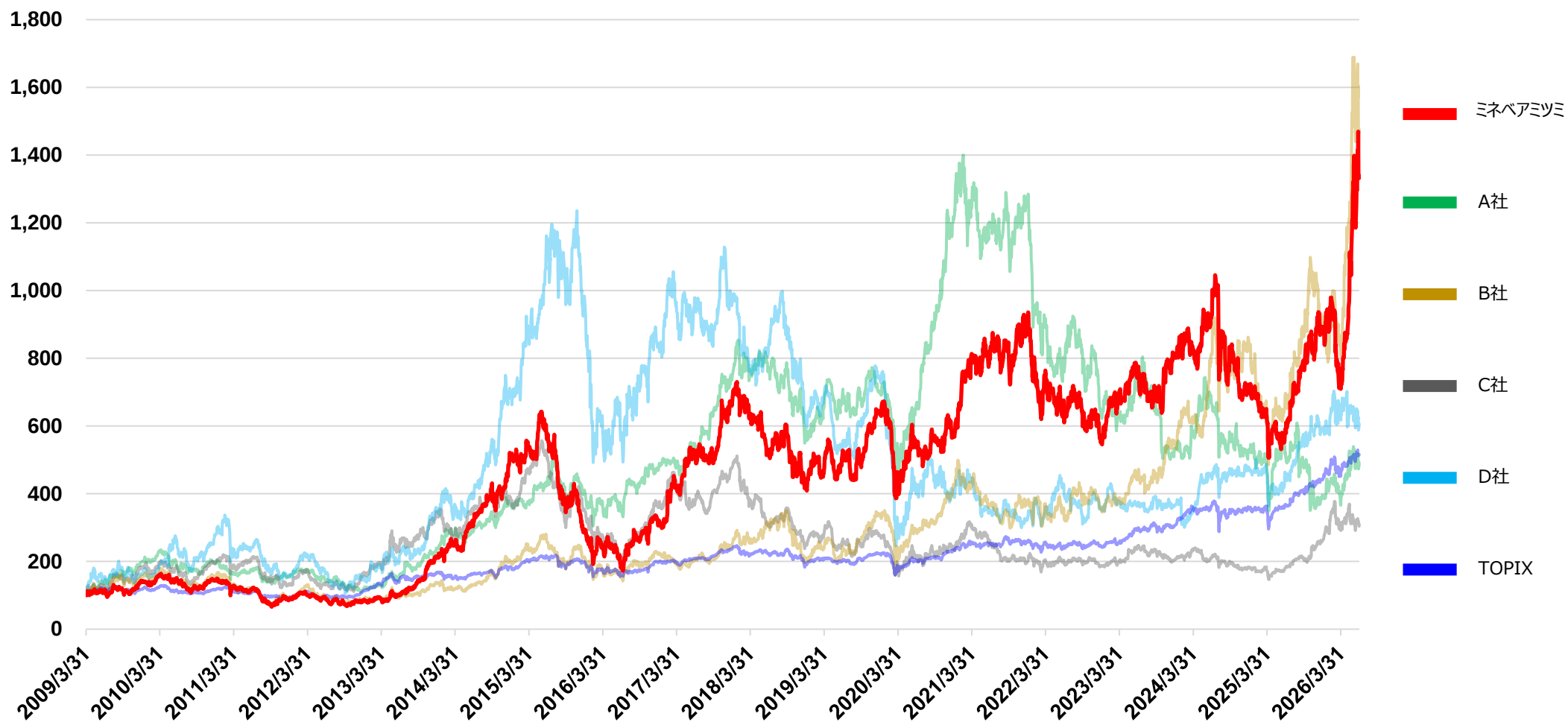
長期的な信頼関係：投資家の皆様との長期的な信頼関係を築くことを目指します



* 27/3期は予定

6-4. 株価パフォーマンス（長期）

2009年3月31日を100とした場合の株価騰落率



*2026/6/30 終値まで



<https://www.minebeamitsumi.com/>

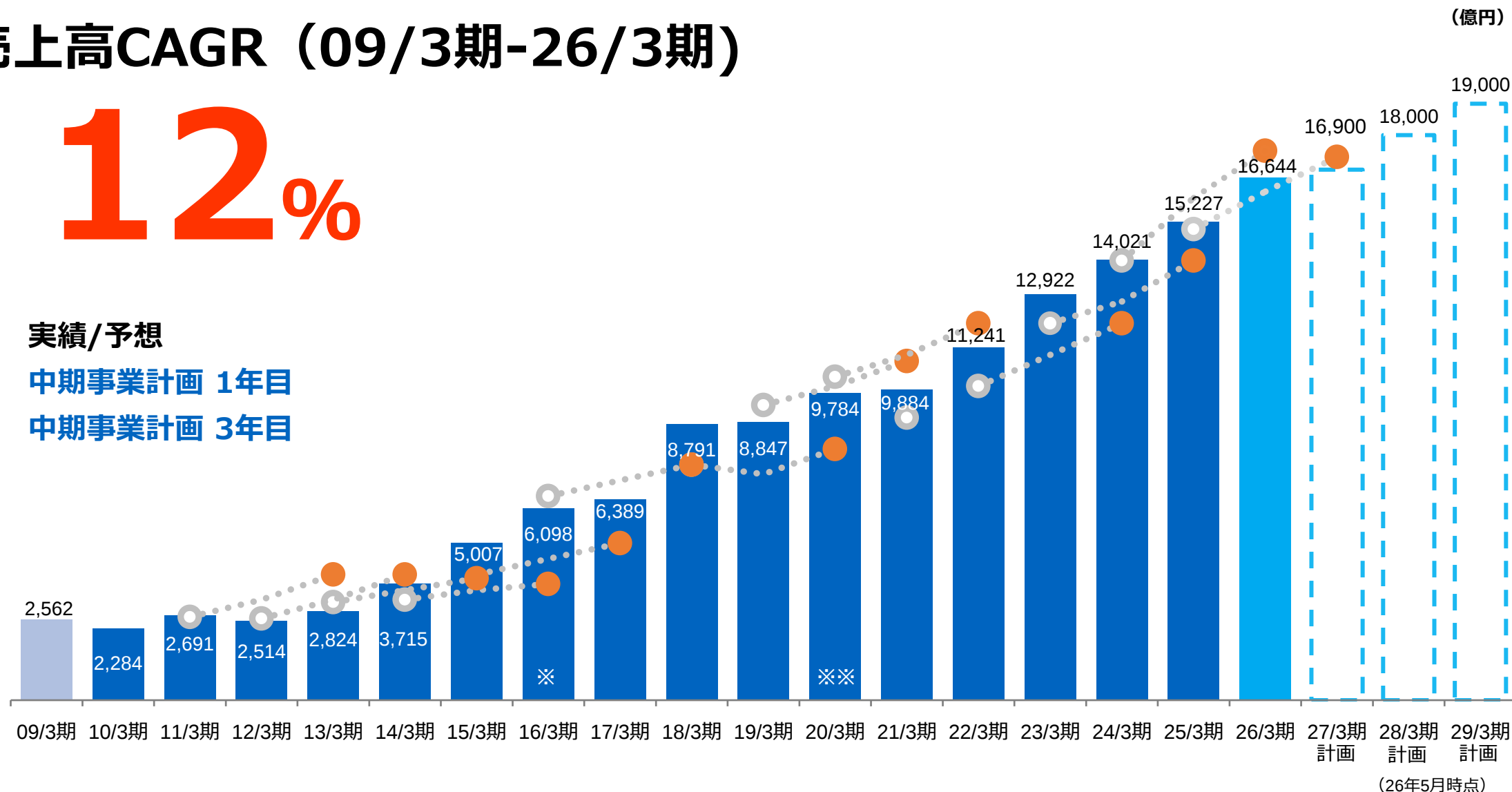
当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

1 章	ミネベアミツミとその強さの秘密
2 章	経営方針・成長戦略
3 章	成長の5分野+1
4 章	今後の売上を牽引するグローバル生産拠点
5 章	カーボンニュートラル
6 章	株主の皆さまへの還元
補 足	17年間の軌跡

売上高CAGR (09/3期-26/3期)

12%

- 実績/予想
- 中期事業計画 1年目
- 中期事業計画 3年目

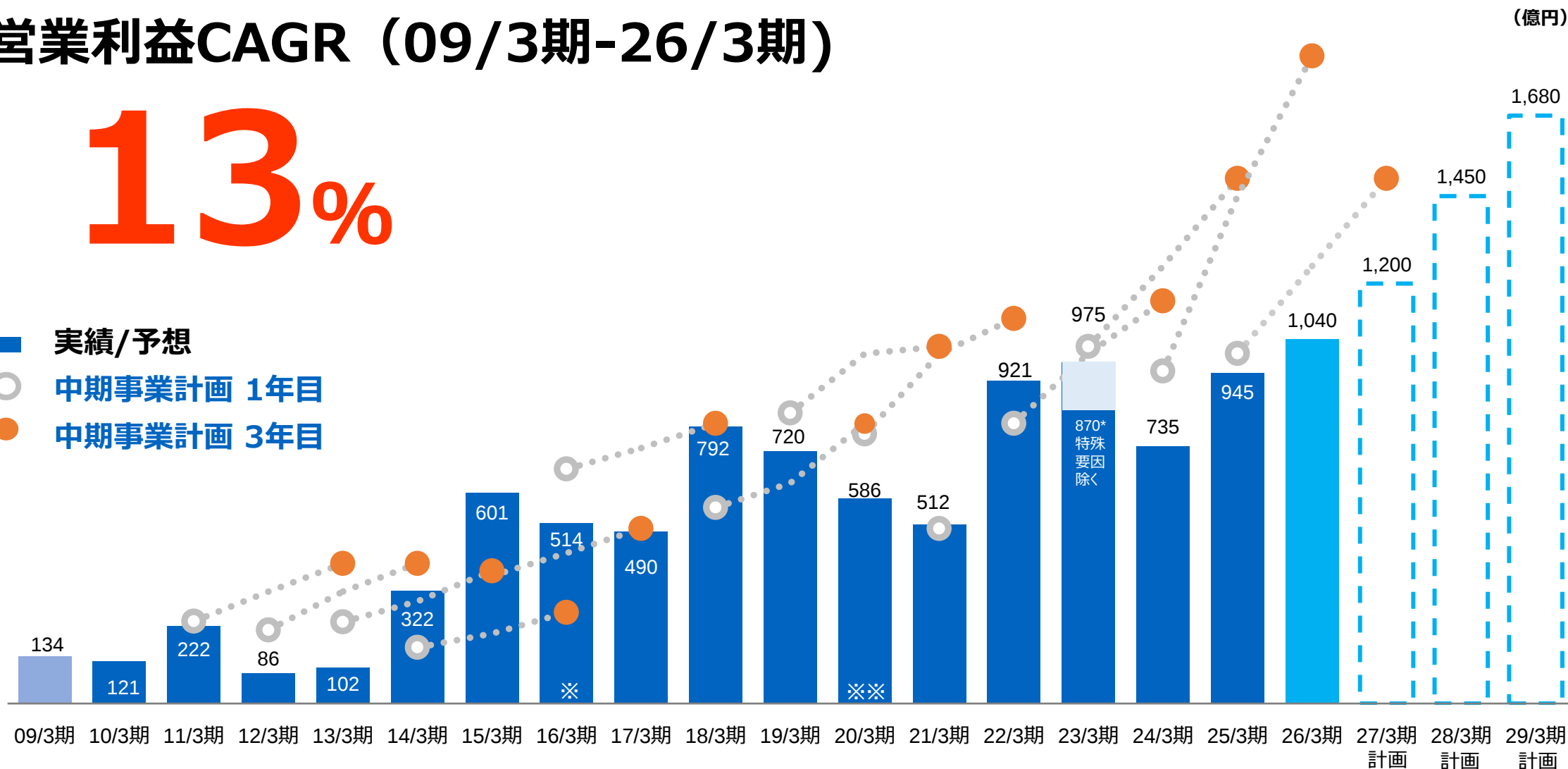


※2016年3月期は経営統合に伴い中期事業計画を公表していないため中期事業計画3年目はblankとしております。
 ※※2020年3月期に発表した中期事業計画は、新型コロナウイルスの影響に伴い、2022年3月期、2023年3月期の数値はイメージとしていたため、中期事業計画3年目はblankとしております。
 ※※※2018年3月期までは日本会計基準、2019年3月期以降はIFRS

営業利益CAGR（09/3期-26/3期）

13%

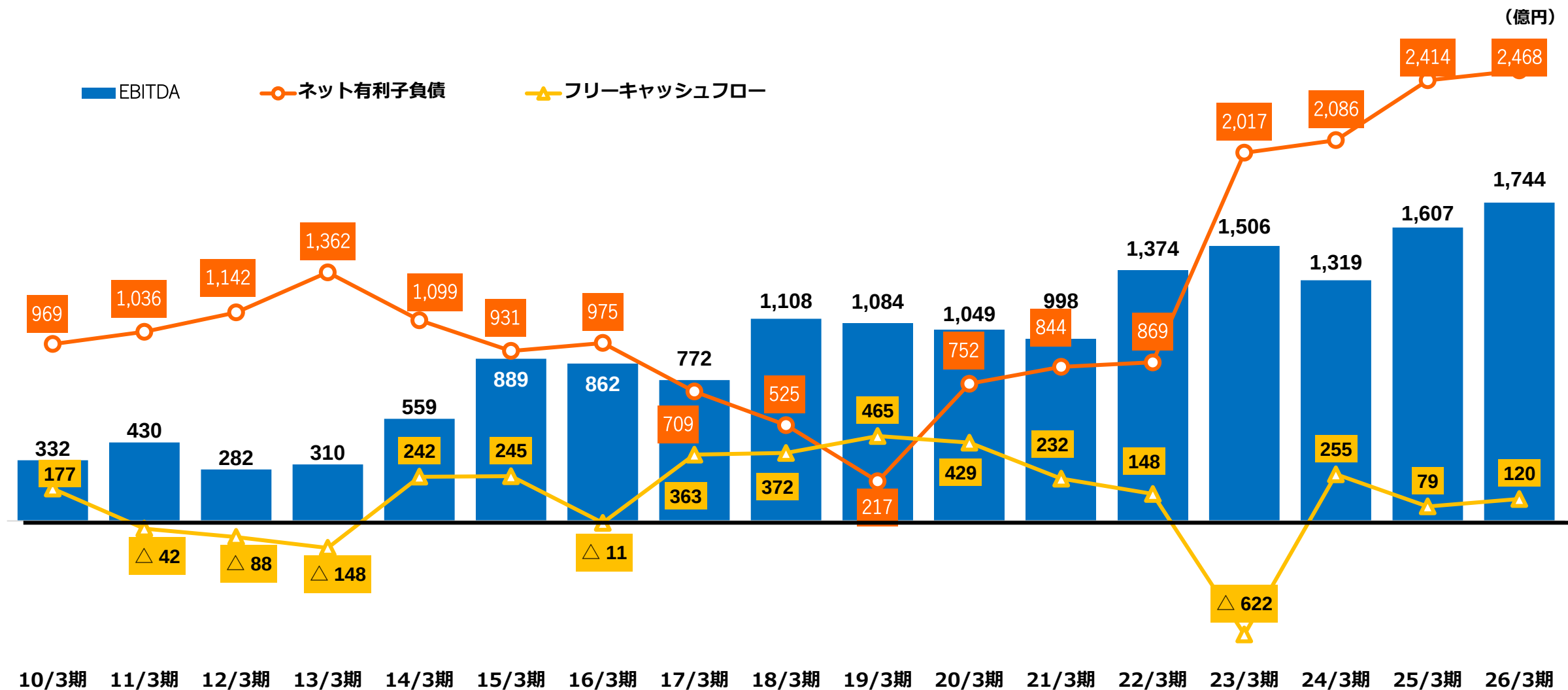
- 実績/予想
- 中期事業計画 1年目
- 中期事業計画 3年目



(26年5月時点)

※2016年3月期は経営統合に伴い中期事業計画を発表していないため中期事業計画3年目はblankとしております。
 ※※2020年3月期に発表した中期事業計画は、新型コロナウイルスの影響に伴い、2022年3月期、2023年3月期の数値はイメージとしていたため、中期事業計画3年目はblankとしております。
 ※※※2018年3月期までは日本会計基準、2019年3月期以降はIFRS

高収益に裏付けられたキャッシュ創出力



収益力の強化を牽引役に、EPS成長率のさらなる向上およびROE改善を実現

